

## 資料目次

資料 1	教学 IR データに見る教育の状況(学生の修得感)	P. 2
資料 2	熊本大学工学部 3 年次編入学志願者・入学者等状況	P. 3
資料 3	熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査結果報告書 【高校向け調査編】	P. 4
資料 4	高等専門学校からの大学編入学に関するアンケート調査結果	P. 22
資料 5	崇城大学、東海大学 入学定員充足率	P. 27
資料 6	データで見る熊本大学、リクルート進学総研マーケットリポート 2022	P. 31
資料 7	熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査結果報告書 【企業・団体向け調査】	P. 37

# 教学IRデータに見る教育の状況(学生の修得感)

卒業予定者アンケート調査 < 学生生活で身についた力 >

Q 5. あなたは次のような力が、今までの学生生活を経験されて、どの程度身についたと思いますか。各項目についてあてはまる番号を選択してください。

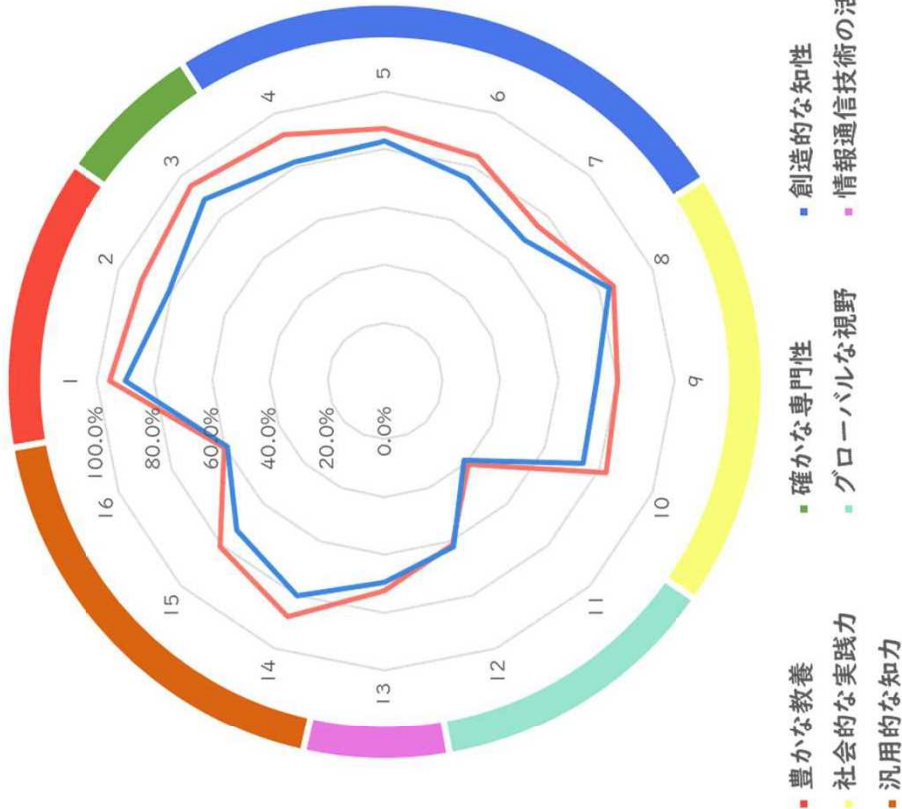
A：1.身についた、2.やや身についた、3.あまり身につかなかった、4.身につかなかった

※修得感合計：「身についた」および「やや身についた」の割合の合計

GPA（各学部上位1/2の学生）：261名、（各学部下位1/2の学生）：254名		
項目	修得感合計 （上位1/2の学生）	修得感合計 （下位1/2の学生）
1) 幅広い知識、ものの見方	95.4%	90.2%
2) 主体的に学習する態度	91.2%	81.1%
3) 専門分野に関する知識・理解	95.4%	88.6%
4) 問題を見つけ、解決方法を考える力	92.0%	81.9%
5) 多様な人々と協働する力	87.0%	82.7%
6) 自分の意見を論理的に発表する力	83.9%	75.6%
7) ディスカッションする力	75.1%	68.5%
8) 社会に対する幅広い関心	85.4%	83.9%
9) 人に分かりやすく話す力	80.5%	73.2%
10) ものごとを批判的に考える力	82.8%	74.0%
11) 外国語を使う力	41.0%	38.6%
12) 異なる文化に関する知識・理解	61.3%	61.8%
13) 情報通信技術を活用する力	72.4%	69.7%
14) 文献・資料・データを収集・分析する力	88.1%	80.3%
15) 論理的に文章を書く力	80.8%	72.8%
16) 統計数理の知識・技能	60.5%	59.1%

差  
5.2%  
10.1%  
6.8%  
10.1%  
4.3%  
8.3%  
6.6%  
1.6%  
7.2%  
8.7%  
2.4%  
0.5%  
2.7%  
7.8%  
8.0%  
1.5%

— GPAが上位1/2の学生 — GPAが下位1/2の学生



熊本大学工学部3年次編入学志願者・入学者等状況

	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
令和元年度	45	132	54	48	2.9	107%
令和2年度	45	113	55	45	2.5	100%
令和3年度	45	99	57	36	2.2	80%
令和4年度	45	141	62	58	3.1	129%
令和5年度	45	138	74	62	3.1	138%

過去5年平均の志願倍率＝

2.8

国立大学法人熊本大学 御中

## 一部抜粋

# 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関する アンケート調査結果報告書 【高校向け調査編】

2023年1月31日

株式会社日経BPコンサルティング



# 1. 目次

---

1. 目次	..... 1
2. 調査概要	..... 2
3. 調査項目	..... 3
4. 報告書の記載について	..... 4
5. 調査結果のまとめ	..... 5
6. 調査結果データ	..... 14
調査回答者属性	..... 15
興味関心のある学問領域	..... 16
進学希望地域／大学選定時の重視点	..... 17
新教育組織への興味度【情報融合学環(仮称)】	..... 18
新教育組織への興味度【半導体デバイス工学課程(仮称)】	..... 19
新教育組織・コース特徴への魅力度【情報融合学環(仮称)】	..... 20
新教育組織の特徴への魅力度【半導体デバイス工学課程(仮称)】	..... 27
受験意向／受験したくない理由	..... 32
付. 巻末資料	..... 37

## 2. 調査概要

---

### 調査目的

熊本大学に設置予定の新教育組織(【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】)に対する高校生の評価や受験意向を把握し、新教育組織における学生確保が可能であることを示す客観的根拠データとする。

### 調査手法

郵送留置き法

(高校に協力を依頼し、調査票を一括送付。授業などにおいて生徒が回答し、回答票は一括で回収する)

※事前架電による調査協力承諾確認を実施

### 調査対象

高校2年生生徒

調査地域(都道府県):北海道、青森県、千葉県、東京都、静岡県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

### 協力依頼数

98校:22,412件 ※架電確認により協力承諾を得た高校数と聴取した2年生生徒数

### 有効回答数

回収済み高校数:83校(回収率84.7%)

有効票数:15,909件 ※問1以降が無記入の場合は無効票として対象外とした。  
(回収率:71.0%)

### 調査期間

2022年11月30日～2023年1月12日

### 調査実施・運営機関

株式会社日経BPコンサルティング 大学ブランド・デザインセンター

### 3. 調査項目

#### 質問項目一覧

基本属性			
No,	質問項目	回答方式	回答者
1	居住都道府県	単一回答	全員
2	性別	単一回答	全員
3	学年	単一回答	全員
4	在籍学科	単一回答	全員
進路について			
5	第一進路希望	単一回答	全員
6	興味・関心のある学問領域	複数回答	進学希望者
7	進学希望地域	単一回答	進学希望者
8	受験大学選択時重視点	複数回答	進学希望者
新教育組織（学環・課程）について			
9	新教育組織への興味度〈4段階〉※資料閲覧後	単一回答 (表形式)	全員
10	情報融合学環・コースの特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 (表形式)	全員
11	半導体デバイス工学課程の特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 (表形式)	全員
12	受験意向（コース・課程）〈4段階〉	単一回答 (表形式)	全員
13	受験非意向の理由	複数回答	非意向者

## 4. 報告書の記載について

---

### ■ 報告書の記載について

- 特に記載がない限り、数値はサンプル数(n)を分母としたパーセント表記とする。
- 比率の分母となるベースは、特に記載がなければ、「回収全体」となる。その他、条件がある場合は注釈で記載する。（「〇〇ベース」など）
- 分析軸（クロス集計）の【求める学問系統】については、下記のように分類し集計をおこなった。  
※複数回答のため、分析軸のnは重複がある。

文系	文学・語学、法・政治学、経済・経営・商学、社会・社会科学、国際関係学、教育学
理系	数学・物理学、化学・生物学、情報科学、機械・電機・電子通信工学、情報工学 建築・土木・環境工学、素材・材料工学、工芸・工業デザイン、農・水産学
工学系	機械・電機・電子通信工学、情報工学、建築・土木・環境工学、素材・材料工学 工芸・工業デザイン
文系	「その他」のみ選択者

## 5. 調査結果のまとめ

---

# 調査結果のまとめ

---

## 進路希望

- 調査に回答した15,909人の高校2年生のうち、62.7%が「国立大学」を第一希望(単一回答)にあげている。「私立大学」は14.6%、「公立大学」が10.3%となっており、高校2年生の段階では「国立大学」志望が圧倒的に多いことがわかる。
- 高校2年生の87.6%が、「国立大学」「公立大学」「私立大学」を含めた4年生大学を進路の第一希望としている。(4年生大学への進学希望者)

## 興味・関心のある学問領域

- 「国立大学」「公立大学」「私立大学」を含めた4年生大学への進学希望者に、興味・関心のある学問領域を複数回答でたずねたところ、「経済・経営・商学」が19.5%で最も多かった。以降、「医・歯・薬学」が18.0%、「文学・語学」が17.5%、「教育学」が17.1%、「看護・保健学」が15.3%と続き、回答が様々な学問領域に分散している。
- 理系、工学系の学問領域では、「情報工学」が12.5%で6番目、「機械・電機・電子通信工学」が11.6%で8番目、「化学・生物学」が10.6%で9番目となっている。(17の学問領域を選択肢として提示した。「その他」は8.2%だった。)

## 進学希望地域

- 4年生大学への進学希望者に、進学希望地域をたずねたところ、「九州」が53.3%と最多となっている。ただし、回答者の8割以上が九州在住であることを留意したい。次いで、「関東・甲信越」が12.8%、「近畿」が8.0%、「中国(地域)」が5.2%となっており、関東方面への進学希望も多いことがわかる。

## 受験大学選定重視点

- 4年生大学への進学希望者に、受験大学を選ぶ際に重視する点をたずねたところ、「魅力的な学部・学科がある」が69.2%と最も高く、「就職率が高い」が36.5%、「学力偏差値が高い」が27.3%、「希望する就職先への就職実績がある」が27.0%と続く。「魅力的な学部・学科がある」が約7割に対して、2番目の「就職率が高い」が3割台半ばとなっており、学部・学科の魅力が受験大学選定に大きく影響することがわかる。

# 調査結果のまとめ

---

## ■ 新教育組織への興味度

高校2年生全体の新教育組織への興味度では、【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】のいずれも、「興味を湧いた計」で3割台となっている。

「国立大学」進学希望者に限定すると、いずれの新組織も4割台と上昇し、興味のある学問領域が「工学系」選択者では6割台まで上昇する。

- 熊本大学が設置を計画している【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】それぞれについて興味度をたずねた。高校2年生全体では【情報融合学環(仮称)】に「興味を湧いた」が7.5%、「少し興味を湧いた」が31.3%となっており、4割弱が興味を示している。【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】では、「興味を湧いた」が7.3%、「少し興味を湧いた」が28.6%となっており、興味を示した高校2年生は3割台半ばに留まる。
- <性別>いずれの新組織についても「男性」の興味度が高く、「興味を湧いた計(「興味を湧いた」「少し興味を湧いた」の合算)」が4割台後半となっている。
- <進路希望別>いずれの新組織についても「国立大学」進学希望者の興味度が最も高く、「興味を湧いた計」が4割を超える。
- <興味のある学問領域>「工学系」選択者において、いずれの新組織についても「興味を湧いた計」が6割を超えており、非常に興味度が高い。「理系」選択者においても5割台半ばとなっている。「文系」選択者では、【情報融合学環(仮称)】への「興味を湧いた計」が34.6%に対して、【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】では26.5%に留まる。
- <進学希望地域別>「九州」希望者では、いずれの新組織についても「興味を湧いた計」が4割程度となっており、他地域への進学希望者よりも興味度が高い。

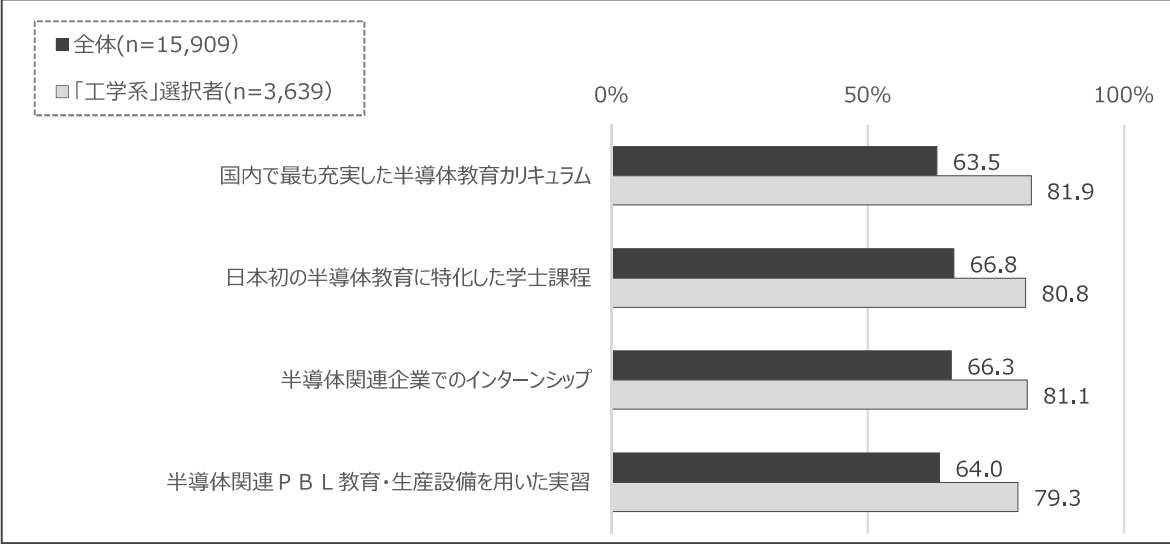
# 調査結果のまとめ

## ■ 新教育組織の特徴に対する魅力度【工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）】

【工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）】の特徴に対する魅力度では、「日本初の半導体教育に特化した学士課程」が最も高く、「半導体関連企業でのインターンシップ」「半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習」「国内で最も充実した半導体教育カリキュラム」の順となっているが、その差は小さい。

- 【工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）】の「魅力的計（「魅力的」「まあ魅力的」の合算）」のスコアでは、「日本初の半導体教育に特化した学士課程」が66.8%と最も高く、「半導体関連企業でのインターンシップ」が66.3%、「半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習」が64.0%、「国内で最も充実した半導体教育カリキュラム」が63.5%の順となっている。4つの特徴間での魅力度の差はほとんどないが、「日本初の半導体教育に特化した学士課程」については、「魅力的」が28.3%と他の特徴に比べ高い。
- 4つの特徴については、「工学系」選択者の魅力度が最も高く、いずれの特徴も「魅力的計」が8割前後となっている。

■ 図. 各特徴に対する「魅力的計（「魅力的」「まあ魅力的」の合算）」の回答率





# 調査結果のまとめ

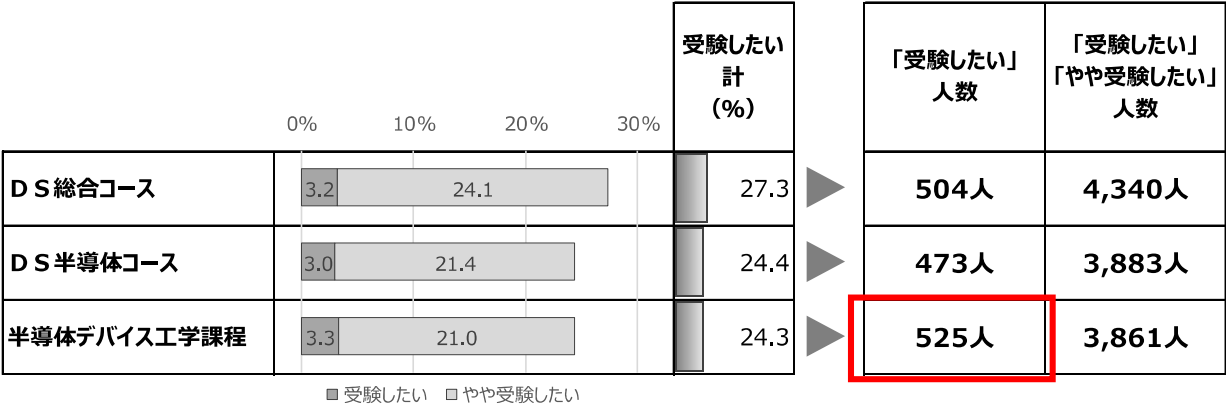
## ■ 受験意向

【DS総合コース(仮称)】を「受験したい」と回答した高校2年生は3.2%(504人)。入学定員(40名)の10倍以上の受験意向者がいる。また、「やや受験したい」を含めた「受験したい計」は27.3%(4,340人)となっており、入学定員(40名)の100倍以上となっている。

【DS半導体コース(仮称)】を「受験したい」と回答した高校2年生は3.0%(473人)。入学定員(20名)の20倍以上の受験意向者がいる。また、「やや受験したい」を含めた「受験したい計」は24.4%(3,883人)となっており、入学定員(20名)の180倍以上となっている。

【半導体デバイス工学課程(仮称)】を「受験したい」と回答した高校2年生は3.3%(525人)。入学定員(20名)の25倍以上の受験意向者がいる。また、「やや受験したい」を含めた「受験したい計」は24.3%(3,861人)となっており、入学定員(20名)の180倍以上となっている。

■ 図. コース・課程別受験意向と意向者人数  
(n=15,909)



# 調査結果のまとめ

---

## ■ 受験意向

### 【半導体デバイス工学課程(仮称)】について

- 【半導体デバイス工学課程(仮称)】では、3.3%が「受験したい」、21.0%が「やや受験したい」と回答しており、3,861人が受験をする可能性がある。
- 【半導体デバイス工学課程(仮称)】については、興味のある学問領域で「工学系」選択者の受験意向率が最も高く、「受験したい」が9.2%、「やや受験したい」が40.8%となっており、「受験したい計」は50.0%と半数が受験意向を示している。
- <性別>「男性」の「受験したい計(「受験したい」「やや受験したい」の合算)」は35.2%、一方「女性」では14.0%となっており、「男性」の受験意向率が高い。
- <進路希望別>「国立大学」進学希望者の「受験したい計」が28.3%、「公立大学(17.4%)」「私立大学(14.7%)」希望者と大きく差が開いている。
- <興味のある学問領域>「工学系」選択者の「受験したい」が9.2%と最も高い。「やや受験したい」の40.8%を含めた「受験したい計」は50.0%となっており、「工学系」に興味のある高校2年生の半数が受験意向を示している。
- <進学希望地域別>「九州」への進学希望者の「受験したい計」が26.8%で最も高かった。次いで「関東・甲信越」進学希望者で20.4%、「中国・四国」進学希望者で20.2%となっている。

## 付. 卷末資料

---

# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

ID:

<32283268C>熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査

### 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査

熊本大学では2024年4月に学部相当の新教育組織「情報融合学域(仮称)」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程(仮称)」の設置を計画しています。このアンケートでは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどについてお聞きします。熊本大学の教育をより充実したものとするための参考資料とさせていただきます。アンケートで得られた情報については、統計的に処理を行い、個人を特定することはありませんのでご安心ください。本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

※「情報融合学域(仮称)」及び「半導体デバイス工学課程(仮称)」設置構想については、今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査を受ける予定です。構想は審査結果によって確定するものであり、変更の可能性があります。

#### 【回答方法】

本アンケートの回答は、質問文(問)をお読みいただき、該当する選択枝の番号に○をご記入いただくか、指定の枠内に記述をお願いします。なお「学域」は「学部」と捉えてください。

■はじめに、あなたご自身についてお聞きいたします。

F1. 居住都道府県	[ ] 都・道・府・県
F2. 性別	1. 男性      2. 女性      3. その他      4. 答えたくない
F3. 学年	1. 1年生      2. 2年生      3. 3年生
F4. 在籍学科	1. 普通科      2. 理数系学科      3. 国際系学科      4. 工業系学科 5. 総合学科      6. その他の専門学科 [学科名: ]

■ここからは、進路についてお聞きいたします。

問1. 高校卒業後の第一希望の進路をお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 国立大学
- 2. 公立大学
- 3. 私立大学

- 4. 短期大学
- 5. 専門学校・専修学校
- 6. 就職
- 7. その他
- 8. まだわからない

【前問で、大学進学を希望している方にお聞きいたします。】

問2. あなたは、どのような学問領域に興味・関心がありますか。(いくつでも)

- |             |                  |                |
|-------------|------------------|----------------|
| 1. 文学・語学    | 7. 看護・保健学        | 13. 情報工学       |
| 2. 法・政治学    | 8. 医・歯・薬学        | 14. 建築・土木・環境工学 |
| 3. 経済・経営・商学 | 9. 数学・物理学        | 15. 素材・材料工学    |
| 4. 社会・社会科学  | 10. 化学・生物学       | 16. 工芸・工業デザイン  |
| 5. 国際関係学    | 11. 情報科学         | 17. 農・水産学      |
| 6. 教育学      | 12. 機械・電機・電子通信工学 | 18. その他        |

# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

【問1で、大学進学を希望している方におうかがいします。】

問3. 進学希望の地域をお知らせください。(ひとつだけ)

- |           |          |       |             |
|-----------|----------|-------|-------------|
| 1. 北海道    | 4. 北陸・東海 | 7. 四国 | 10. 海外      |
| 2. 東北     | 5. 近畿    | 8. 九州 | 11. まだわからない |
| 3. 関東・甲信越 | 6. 中国    | 9. 沖縄 |             |

【問1で、大学進学を希望している方におうかがいします。】

問4. 受験大学を選ぶ時に重視することはなんですか。(いくつでも)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 有名である            | 8. 交通の便がよい        |
| 2. 歴史伝統がある          | 9. 自宅から通える        |
| 3. 学力偏差値が高い         | 10. 学費が安い         |
| 4. 魅力的な学部・学科がある     | 11. クラブ・サークル活動が盛ん |
| 5. 就職率が高い           | 12. その他           |
| 6. 希望する就職先への就職実績がある | 13. わからない・特になし    |
| 7. 専門性がある           |                   |

■ここからは、熊本大学の新学部相当組織「情報融合学環（仮称）」と工学部新課程「半導体デバイス工学課程（仮称）」についておうかがいします。  
※別紙資料をご覧ください、質問にご回答ください。

問5. 資料をご覧ください。熊本大学の新学部相当組織「情報融合学環（仮称）」と工学部新課程「半導体デバイス工学課程（仮称）」に対して、進学先としてどの程度興味が湧きましたか。(ひとつだけ)

	興味が湧いた	少し興味が湧いた	あまり 興味が湧かない	興味が湧かない
情報融合学環（仮称）	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス 工学課程（仮称）	1	2	3	4

次のページへ →

調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問6. 熊本大学の「情報融合学環 (仮称)」では、「DS (データサイエンス) 総合コース (仮称)」「DS (データサイエンス) 半導体コース (仮称)」の2つのコースを設置する計画です。「情報融合学環 (仮称)」とそれぞれのコースの特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

	魅力的	まあ 魅力的	あまり 魅力的 ではない	魅力的 ではない
■「情報融合学環 (仮称)」の特徴について				
A データサイエンス・DXスキル教育: Society5.0に対応するために必要不可欠なデータサイエンスを含めた情報通信・AIに関連する基礎的な知識とデータを活用するためのスキル修得のためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
B 実践的英語教育: 実践的な英語によるコミュニケーション能力を培うためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
C 中学校・高等学校の教員免許状: 選択により中学校教諭・高等学校教諭「数学」、高等学校教諭「情報」の免許を取得できるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
D 文理融合教育・他大学と連携した授業科目: 法学部等の文系学部科目に加え、熊本大学にはない経営学や農学等に関わる科目を熊本県立大学、東海大学の開講科目から選択できます。データサイエンスを軸とした様々な専門分野を学ぶことができます。	1	2	3	4
■「DS 総合コース (仮称)」の特徴について				
E 地域課題 PBL*: 企業や自治体等の実務家教員が担当する科目を開設し、実際のデータを使って、データサイエンススキル等を活用し、社会現場から課題を見つけ出す課題発見力や、分析の結果を現場に浸透させて改善する社会実践力を学びます。	1	2	3	4
■「DS 半導体コース (仮称)」の特徴について				
F データサイエンスの視点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目: 回路開発環境の標準的ソフトウェア環境や、実際の半導体製造プロセスを模した実験実習科目等を含めた実践力を涵養する教育プログラムです。	1	2	3	4

\*PBL = Project Based Learning : 地域課題解決等を通じた探究的な学びの手法

問7. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程 (仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程 (仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

	魅力的	まあ 魅力的	あまり 魅力的 ではない	魅力的 ではない
■工学部「半導体デバイス工学課程 (仮称)」の特徴について				
G 国内で最も充実した半導体教育カリキュラム: 半導体工学の基礎となる数学/物理/化学/材料/機械などの基礎学問を学修した上で半導体デバイスプロセスや半導体システム設計、デバイス評価技術等の高度な専門的能力を身につけることができるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
H 日本初の半導体教育に特化した学士課程	1	2	3	4
I 半導体関連企業でのインターンシップ: 熊本地域の半導体関連企業・半導体製造関連 (関連製造) 企業でのインターンシップ等を実施し、実践力を培います。	1	2	3	4
J 半導体関連 PBL 教育・生産設備を用いた実習: 産業界のニーズに対応した実践的教育として、企業技術者 (実務家教員) による PBL 教育や企業での実際の生産設備を用いた実習を取り入れた教育プログラムです。	1	2	3	4

# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問 8. 「情報融合学環 (仮称)」の2つのコースと、工学部「半導体デバイス工学課程 (仮称)」について、あなたは受験したいと思いますか。(それぞれひとつだけ)

	受験したい	やや 受験したい	あまり受験 したくない	受験したく ない
DS 総合コース (仮称)	1	2	3	4
DS 半導体コース (仮称)	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス工学課程 (仮称)	1	2	3	4

【問 8 で、「あまり受験したくない」「受験したくない」と回答された方におうかがいします。】

問 9. 受験したくないと思う理由をお知らせください。(いくつでも)

1. 熊本大学だから
2. 他大学の学部(学環)の方が魅力的だから
3. 自分は文系志望だから
4. 理系分野だけ学びたいから
5. 半導体や DX に興味がないから
6. 就職先が限られるから
7. そもそも学環が何かよくわからないから
8. 何を学べるのかわからないから
9. 社会で役立つ学問かわからないから
10. カリキュラムが分かりづらいから
11. 数学が苦手だから
12. 英語が苦手だから
13. その他
14. わからない・特になし

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。



## 同封資料①

**熊本大学**  
Kumamoto University

令和6年4月

挑む、  
デジタルの最先端へ

紡ぐ、  
半導体産業の未来を

文理融合型で学ぶ  
**情報融合学環**  
(仮称)

**創設**  
入学定員:60名

**DS総合コース**  
(仮称)  
Data Science General course  
コース配属人数(2年次から):40名\*

**DS半導体コース**  
(仮称)  
Data Science Semiconductor course  
コース配属人数(2年次から):20名\*

Feature  
強み・特徴

- データサイエンスを基礎とした文理融合型の学び
- 実践的かつ専門的な半導体関連コースと幅広く学べる総合コース
- 地域社会および国内外の研究機関や企業との立体的な連携

https://www.kumamoto-u.ac.jp/

**School of Informatics**  
情報融合学環で身に付く力

**DS総合コース(仮称)**  
Data Science General course  
人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを総合的に学ぶことで、社会の幅広いDX課題に対応できる力が身に付く

**DS半導体コース(仮称)**  
Data Science Semiconductor course  
基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体を含む製造DX課題に対応できる力が身に付く

実践的な英語科目、プレゼンテーション、アポイントレタリング、文理解読科目を学ぶことで、国際社会で活躍できる力が身に付く

取得可能資格  
DS総合コース: 中学校教諭一級免許状(数学)、高等学校教諭一級免許状(数学/情報)、ほか(申請予定)  
DS半導体コース: 中学校教諭一級免許状(数学)、高等学校教諭一級免許状(数学/情報)、ほか(申請予定)

修得の道  
DS総合コース: 金融機関、情報通信系(IT企業)、製造業、流通・サービス、教育関連業、地方・国家公務員、学校教員  
DS半導体コース: 半導体関連企業をはじめとする製造業、情報通信系(IT企業)、流通・サービス、地方・国家公務員、学校教員

**カリキュラム**

	1年次	2年次	3年次	4年次
DS半導体コース(仮称)			半導体関連科目	
DS総合コース(仮称)			半導体関連科目 (環境・データサイエンス・人間関係科目)	
			情報科学関連科目	
			社会科学関連科目	

※各コースの履修科目は履修科目表にてご確認ください

**入試日程**

	入学希望発表会場	入学希望発表会場	入学希望発表会場	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜後期日程	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年3月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを要する)				令和6年2月(予定)	令和6年2月(予定)

※大学入学共通テストを要する

**熊本大学**  
Kumamoto University

【お問い合わせ】  
熊本大学 新教育組織(学士課程) 設置準備室  
TEL: 096-342-2031

https://www.kumamoto-u.ac.jp/

## 同封資料②

**熊本大学**  
Kumamoto University

くまもとから世界へ  
半導体の  
未来を切り拓く

令和6年4月

**工学部  
半導体デバイス工学課程**  
(仮称)  
**創設**  
入学定員:20名

Feature  
強み・特徴

半導体教育に特化したカリキュラム

- Point 1** 半導体工学の基礎知識を学修した上で、半導体デバイスプロセスや半導体システム設計、デバイス評価技術などの高度な専門性を高める
- Point 2** 授業は、最先端の半導体研究を行っている教授陣に加え、企業の一線や産学連携の研究者/技術者や経営者が講師。インターンシップなど、企業との連携による実践的な科目が豊富
- Point 3** 社会的要請の強い半導体関連分野において、世界で活躍するための英語運用能力とコミュニケーション能力を高めるプログラムを用意

https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/

**Faculty of Engineering**

工学部 半導体デバイス工学課程の強み

**教育の概要**  
半導体デバイスの設計・製造プロセス全体に対する理解力に加えて、産業界の半導体人材育成ニーズを踏まえ、半導体研究開発に不可欠な物理・化学・数学・材料・機械などの基礎学問(「工学バリエーション」)の修得を重視したカリキュラムとする。さらに、地元半導体企業と連携して実務家教員を雇用し、OJT・PBL(現場型+課題解決型)教育を積極的に行い、入れた教育プログラムを提供する

**育成する人材**  
半導体デバイス製造の構工程から最終工程に至る製造過程における基礎的な専門知識を備え、半導体デバイスの製造・評価・開発に携われる人材へ

・半導体製造工程(設計・製造)・システム設計エンジニア  
・半導体デバイスプロダクトエンジニア など

**入試**

1年次入学(仮称) 特別選抜及び一般選抜の実施を検討中

**入試日程**

	入学希望発表会場	入学希望発表会場	入学希望発表会場	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜後期日程	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年3月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを要する)				令和6年2月(予定)	令和6年2月(予定)

**熊本大学**  
Kumamoto University

【お問い合わせ】  
熊本大学 自然科学系事務課 工学部教務担当  
TEL: 096-342-3522

https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/



## 同封資料③

令和6年  
4月

# Change & Charge

熊本大学

紡ぐ、半導体産業の未来を  
挑む、デジタルの最先端へ

くまもとから世界へ  
半導体の未来を切り拓く

文理融合の学部連携組織

## 情報融合 学環 (仮称)

入学定員: 60 名

文理融合、実践的教育、  
学内連携、地域連携、  
大学間連携によるDX、  
数理・データサイエンス人材を  
育成します

工学部 4 学科横断の新組織

## 工学部 半導体デバイス 工学課程 (仮称)

入学定員: 20 名

半導体デバイスの製造過程に  
おける基礎的専門知識を備え、  
半導体デバイスの  
製造・評価・開発に関わる  
人材を育成します

DS総合コース (仮称) コース編入者 (2 年次) 20 名\*

人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを体系的に学ぶことで、社会の幅広い DX 課題に対応できる力を育成

DS半導体コース (仮称) コース編入者 (2 年次) 20 名\*

基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体を含む製造 DX 課題に対応できる力を育成

\*1 編入は DS 総合コースと DS 半導体コースのいずれかを選択し、2 年次編入試験に合格する必要があります。

将来の道

データサイエンティスト 半導体関連エンジニア

※「情報融合学環 (仮称)」及び「工学部半導体デバイス工学課程 (仮称)」は、設置申請に付いてまだ決定がなされていないため、学生の入学希望の意向を伺うものです。設置と専攻設置によって確定するものではありません。

熊本大学  
Kumamoto University

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>

# 高等専門学校からの大学編入学に関するアンケート調査結果

---

## 調査目的

熊本大学に設置予定の工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)に対する高等専門学校生の評価や受験意向を把握し、学生確保が可能であることを示す客観的根拠データとする。

## 調査手法

Webアンケート  
(独立行政法人国立高等専門学校機構の協力の下、生徒がWebアンケートに回答する)

## 調査対象

高等専門学校生  
調査地域:九州、中国、四国地区

## 有効回答数

回答数:1,293人  
地域内訳:九州599(46.3%)、中国248(19.2%)、四国445(34.4%)、不明1  
学年別内訳:4年生392(30.3%)、3年生444(34.3%)、2年生457人(35.3%)

## 調査期間

令和4年2月

# アンケート集計結果

○4年生(令和5(2023)年度入学想定)

単位:人

	希望・興味	希望しない	わからない	計
熊本高等専門学校	18 67%	8 30%	1 4%	27 -
九州地区(熊本除く)	101 57%	62 35%	13 7%	176 -
中国地区	22 34%	28 43%	15 23%	65 -
四国地区	28 23%	78 63%	18 15%	124 -
計	169 43%	176 45%	47 12%	392 -

○2-4年生の平均

単位:人

	希望・興味	希望しない	わからない
熊本高等専門学校	13	7	4
九州地区(熊本除く)	86	55	34
中国地区	23	35	25
四国地区	36	71	41

○3年生(令和6(2024)年度入学想定)

単位:人

	希望・興味	希望しない	わからない	計
熊本高等専門学校	8 42%	6 32%	5 26%	19 -
九州地区(熊本除く)	97 54%	53 29%	30 17%	180 -
中国地区	32 39%	23 28%	28 34%	83 -
四国地区	43 27%	72 45%	46 29%	161 -
計	180 41%	154 35%	109 25%	443 -
不明	1 100%	0 0%	0 0%	1 -

○2年生(令和7(2025)年度入学想定)

単位:人

	希望・興味	希望しない	わからない	計
熊本高等専門学校	12 46%	7 27%	7 27%	26 -
九州地区(熊本除く)	60 35%	51 30%	60 35%	171 -
中国地区	16 16%	53 53%	31 31%	100 -
四国地区	38 24%	63 39%	59 37%	160 -
計	126 28%	174 38%	157 34%	457 -

令和4年2月10日

中国・四国・九州地区の高等専門学校長 殿

熊本大学工学部長  
連 川 貞 弘

高等専門学校からの大学編入学に関するアンケート調査について（依頼）

平素より本学の教育及び研究にご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。

本学先端科学研究部（工学系）では、半導体および関連分野の研究を強化するとともに、半導体関連の教育カリキュラムを整備するために、令和4年4月に「附属半導体研究教育センター」を設置いたします。本学は、工学部卒業生および自然科学教育部大学院修了生を中心に、年平均60名の人材を熊本・九州地区の半導体関連産業へ輩出しておりますが、今後、半導体分野の専門教育を受けた人材への社会的要請がますます高くなることが予想されることから、本学部では、高等専門学校からの編入学定員について、令和5年度から20名増員し定員65名とすることを検討しています。

そのため、九州・中国・四国地区における高等専門学校の2年生、3年生、4年生につきまして、本学工学部への編入学希望状況を把握したく別紙（又は次のメール文）によりアンケート調査を行うことと致しました。年度末に入り大変ご多忙な時期とは存じますが、当該学生の皆さんへのオンラインアンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、誠に勝手ではございますが、2月28日（月）までに対象の学生ご本人が直接回答されますようご配慮方よろしく願いいたします。

参考までに、設問数は6問、回答の所要時間は1分程度かと存じます。

また、ご不明な点がございましたら下記担当にご遠慮なくお知らせください。

お問い合わせ

〒860-8555

熊本市中央区黒髪2丁目39-1

熊本大学自然科学系事務課 工学部教務担当

E-mail [szk-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:szk-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

令和4年2月10日

高等専門学校

2年生、3年生、4年生の皆さん

熊本大学工学部長

連川 貞弘

高等専門学校からの大学編入学に関するアンケート調査について（お願い）

熊本大学工学部では、社会からの要請の強い半導体および関連分野の技術者・研究者の育成および研究を強化するために、高等専門学校から本学工学部3年生への編入学について、令和5年度から編入学定員を20名増員することを検討しています。半導体は、情報電気分野のみならず、材料/化学/物理/機械/数学/など幅広い分野の総合的技術ですので、所属学科に限らずどの分野からも半導体研究に寄与することができます。

そのため、高等専門学校の2年生・3年生・4年生の皆さんが、本学工学部の編入学をどれだけ希望していただけるか、アンケート調査を行うこととなりましたので、2月28日（月）までに下記のオンラインアンケートフォームにて回答をよろしくお願いいたします。

なお、半導体関係以外でも本学工学部への編入学について興味をお持ちの方は、必ず回答いただきますようお願いいたします。（設問数は6問、回答所要時間は1分程度、無記名です。）

また、不明な点がございましたら下記担当にご遠慮なくお知らせください。

記

オンラインアンケートフォーム

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdpvA9-QNuHbusTeUY1-DMq6UHjXoatesvn5VqjBjAC-YqcQg/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdpvA9-QNuHbusTeUY1-DMq6UHjXoatesvn5VqjBjAC-YqcQg/viewform?usp=sf_link)



お問い合わせ

〒860-8555

熊本市中央区黒髪2丁目39-1

熊本大学自然科学系事務課 工学部教務担当

E-mail [szk-kyomu@jim.kumamoto-u.ac.jp](mailto:szk-kyomu@jim.kumamoto-u.ac.jp)

参考：このページは高専に送付しませんが、回答いただく Google フォームによるアンケート質問事項を記載しています。

熊本大学工学部第3年次編入学に関するアンケート  
回答は1人1回のみでお願いします。

1. 高等専門学校名を記入願います。  
( )
2. 学科名を記入願います。  
( )
3. 現在の学年を選択してください。  
○2年生    ○3年生    ○4年生
4. 熊本大学工学部3年次編入学について、次から選択してください。  
○希望する。→次の質問に移動します。  
○興味があり検討したい。→次の質問に移動します。  
○興味はあるが今はわからない。→次の質問に移動します。  
○わからない。→次へ（送信して終了）  
○希望しない。→次へ（送信して終了）
5. 熊本大学工学部に編入学を希望する、あるいは興味があると回答した方はその理由を次から選択してください。  
○半導体関連研究を行いたい。  
○半導体関連以外の研究を行いたい。  
○教員免許を取得したい  
○その他
6. 編入学を希望する分野等について選択してください。（複数選択可）  
○半導体関係  
○機械・数理  
○土木・建築  
○情報・電気  
○材料・応用化学  
○わからない。

## 崇城大学 学部学科 入学者数・在学生数

単位（人）

学部	学科	入学定員	入学者数	収容定員	在学生数	収容定員 充足率
工学部	機械工学科	70	75	280	330	117.9%
	ナノサイエンス学科	50	54	200	209	104.5%
	建築学科	70	71	280	342	122.1%
	宇宙航空システム工学科	80	91	320	347	108.4%
学部計		270	291	1,080	1,228	113.7%
芸術学部	美術学科	30	24	120	99	82.5%
	デザイン学科	40	59	160	178	111.3%
学部計		70	83	280	277	98.9%
情報学部	情報学科	130	148	520	632	121.5%
学部計		130	148	520	632	121.5%
生物生命学部	応用微生物工学科	70	74	280	302	107.9%
	応用生命科学科	80	85	320	387	120.9%
学部計		150	159	600	689	114.8%
薬学部	薬学科	120	126	720	815	113.2%
学部計		120	126	720	815	113.2%
合計		740	807	3,200	3,641	113.8%

令和2年5月1日現在

出典：崇城大学HP

# 崇城大学 学部学科 入学者数・在学生数

単位（人）

学部	学科	入学定員	入学者数	収容定員	在学生数	収容定員 充足率
工学部	機械工学科	70	77	280	323	115.4%
	ナノサイエンス学科	50	39	200	191	95.5%
	建築学科	70	79	280	339	121.1%
	宇宙航空システム工学科	80	75	320	339	105.9%
学部計		270	270	1,080	1,192	110.4%
芸術学部	美術学科	30	19	120	88	73.3%
	デザイン学科	40	49	160	189	118.1%
学部計		70	68	280	277	98.9%
情報学部	情報学科	130	156	520	653	125.6%
学部計		130	156	520	653	125.6%
生物生命学部	応用微生物工学科	70	54	280	286	102.1%
	応用生命科学科	80	77	320	357	111.6%
学部計		150	131	600	643	107.2%
薬学部	薬学科	120	133	720	821	114.0%
学部計		120	133	720	821	114.0%
合計		740	758	3,200	3,586	112.1%

令和3年5月1日現在

出典：崇城大学HP



# 崇城大学 学部学科 入学者数・在学生数

単位（人）

学部	学科	入学定員	入学者数	収容定員	在学生数	収容定員 充足率
工学部	機械工学科	70	82	280	334	119.3%
	ナノサイエンス学科	50	54	200	204	102.0%
	建築学科	70	90	280	338	120.7%
	宇宙航空システム工学科	80	65	320	326	101.9%
学部計		270	291	1,080	1,202	111.3%
芸術学部	美術学科	30	47	120	116	96.7%
	デザイン学科	40	37	160	186	116.3%
学部計		70	84	280	302	107.9%
情報学部	情報学科	130	155	520	628	120.8%
学部計		130	155	520	628	120.8%
生物生命学部※	生物生命学科	150	179	600	667	111.2%
学部計		150	179	600	667	111.2%
薬学部	薬学科	120	140	720	826	114.7%
学部計		120	140	720	826	114.7%
合計		740	849	3,200	3,625	113.3%

令和4年5月1日現在

※令和4年度 生物生命学部学科改組により、在学生数の内訳は以下の通り。

生物生命学科（1年）	179人
応用微生物工学科（2～4年）	215人
応用生命科学科（2～4年）	273人
合計	667人

出典：崇城大学HP

## 2022年度学生数一覧

2022年5月1日現在(日本私立学校振興・共済事業団 学校法人基礎調査数)

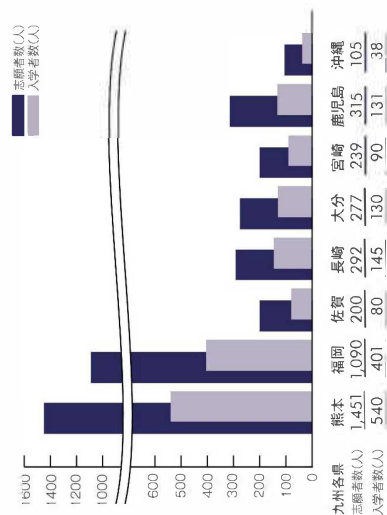
学校名	区 分		入学定員	入学者数	収容定員	現員	収容定員充足率(%)
東 海 大 学	学部計		6,863	7,165	27,418	27,589	101
	文学部		370	384	1,480	1,540	104
	文化社会学部		450	466	1,800	1,819	101
	教養学部		190	201	1,180	1,216	103
	児童教育学部		150	147	150	147	98
	体育学部		540	539	1,980	1,991	101
	健康学部		200	197	800	804	101
	法学部		300	310	1,200	1,201	100
	政治経済学部		400	414	1,840	1,880	102
	経営学部		230	240	230	240	104
	国際学部		200	207	200	207	104
	観光学部		200	206	800	831	104
	情報通信学部		240	294	1,200	1,299	108
	理学部		320	327	1,280	1,267	99
	情報理工学部		300	362	900	982	109
	建築都市学部		340	407	340	407	120
	工学部		820	828	4,990	5,023	101
	医学部		213	229	1,058	1,055	100
	海洋学部		350	353	1,940	1,904	98
	人文学部		180	179	180	179	99
	経営学部	2022年度より募集停止	—	—	690	673	98
	基盤工学部	2022年度より募集停止	—	—	420	299	71
	文理融合学部		300	336	300	336	112
	農学部		230	191	920	769	84
	国際文化学部		190	199	970	948	98
	生物学部		150	149	570	572	100
	大学院計		563	438	1,284	977	76
	総合理工学研究科	博士課程	35	8	105	49	47
	地球環境科学研究科 2021年度より募集停止	博士課程	—	—	10	5	50
	生物科学研究科	博士課程	10	3	30	7	23
	文学研究科	博士課程(前期)・修士課程	44	24	88	50	57
		博士課程(後期)	18	2	54	10	19
	政治学研究科	博士課程(前期)	10	3	20	3	15
		博士課程(後期)	5	0	15	1	7
	経済学研究科	博士課程(前期)	10	3	20	5	25
		博士課程(後期)	5	0	15	2	13
	法学研究科	博士課程(前期)	10	0	20	1	5
		博士課程(後期)	5	0	15	0	0
	人間環境学研究科	修士課程	10	6	20	11	55
	芸術学研究科	修士課程	8	4	16	10	63
	体育学研究科	博士課程(前期)	20	13	40	37	93
		博士課程(後期)	3	6	6	9	150
	理学研究科	修士課程	32	31	64	61	95
	工学研究科	修士課程	203	227	406	495	122
	情報通信学研究科	修士課程	30	25	60	46	77
	海洋学研究科	修士課程	20	21	40	45	113
	医学研究科	修士課程	10	8	20	15	75
		博士課程	35	20	140	68	49
	健康科学研究科	修士課程	20	14	40	23	58
	農学研究科	修士課程	12	13	24	16	67
	生物学研究科	修士課程	8	7	16	8	50

出典：東海大学HP

## 4 入学状況



※高卒認定試験合格者、私費外国人留学生など

データで見る  
熊本大学A LOOK AT  
KUMAMOTO UNIVERSITY  
THROUGH DATA 2022

国立大学法人熊本大学 御中

## 一部抜粋

# 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関する アンケート調査結果報告書 【企業・団体向け調査】

2023年1月31日

株式会社日経BPコンサルティング

# 調査概要

---

## ■ 調査目的

熊本大学に設置予定の新教育組織(【情報融合学環(仮称)】【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】)に対する企業・団体の評価や採用意向を把握し、新教育組織卒業生採用受入先の実態を示す客観的根拠データとする。

## ■ 調査手法

郵送留置き法(Web回答を併用)  
※事前架電により調査実施告知を行い、送付先を確認した。

## ■ 調査対象

全国の企業・団体

## ■ 協力依頼数

931件

## ■ 有効回答数

322件 ※郵送回収とWeb回答の重複を除く  
(回収率:34.6%)

## ■ 調査期間

2022年11月30日～2022年12月23日

## ■ 調査実施・運営機関

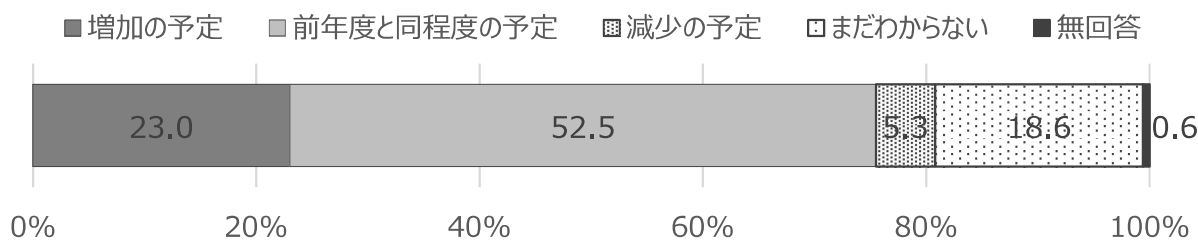
株式会社日経BPコンサルティング 大学ブランド・デザインセンター

# 調査項目

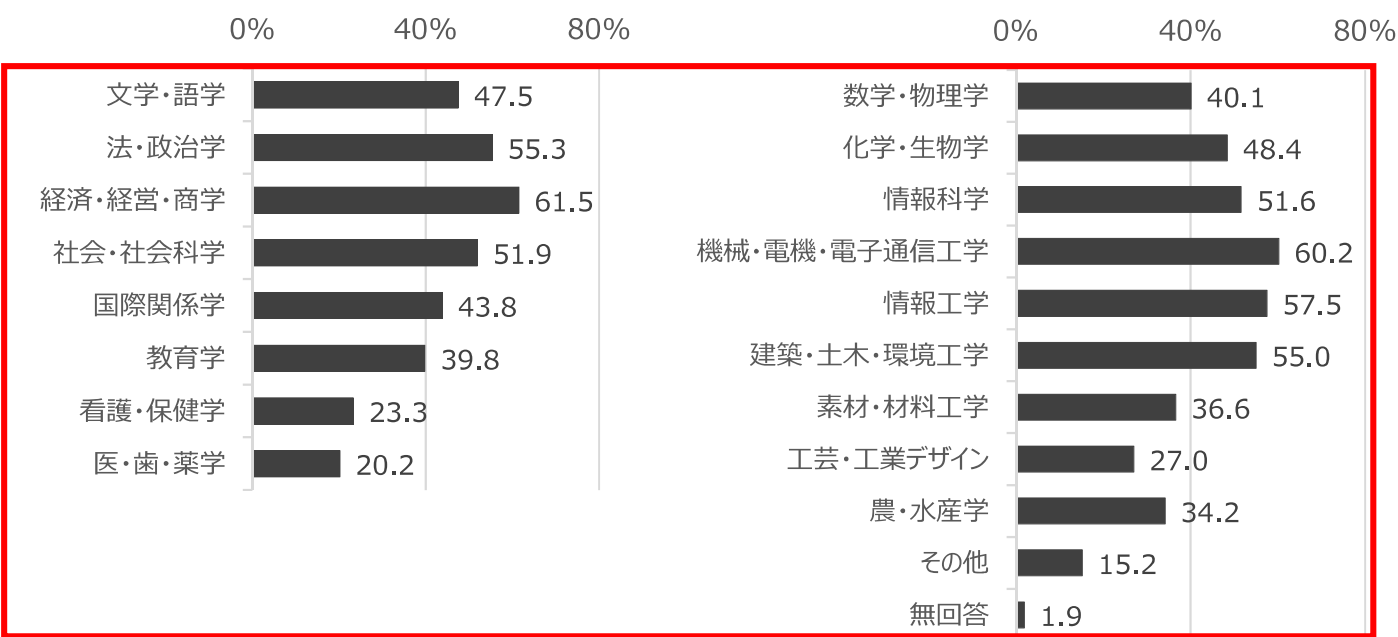
## 質問項目一覧

企業・団体属性			
No,	質問項目	回答方式	回答者
1	業種	単一回答	全員
2	従業員・職員数	単一回答	全員
新卒採用について			
3	今年度（2022 年度）の新卒採用人数	単一回答	全員
4	来年度（2023 年度）の新卒採用計画	単一回答	全員
5	求める学生の学問系統	複数回答	全員
6	求める学生の資質	複数回答	進学希望者
新教育組織（学環・課程）について			
7	新教育組織の社会的必要性〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
8	新教育組織への興味度〈4段階〉※資料閲覧後	単一回答 （表形式）	全員
9	情報融合学環・コースの特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
10	半導体デバイス工学課程の特徴に対する魅力度 〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
11	新教育組織卒業生採用意向（コース・課程） 〈4段階〉	単一回答 （表形式）	全員
12	新教育組織卒業生採用希望人数	数値記入	採用意向者

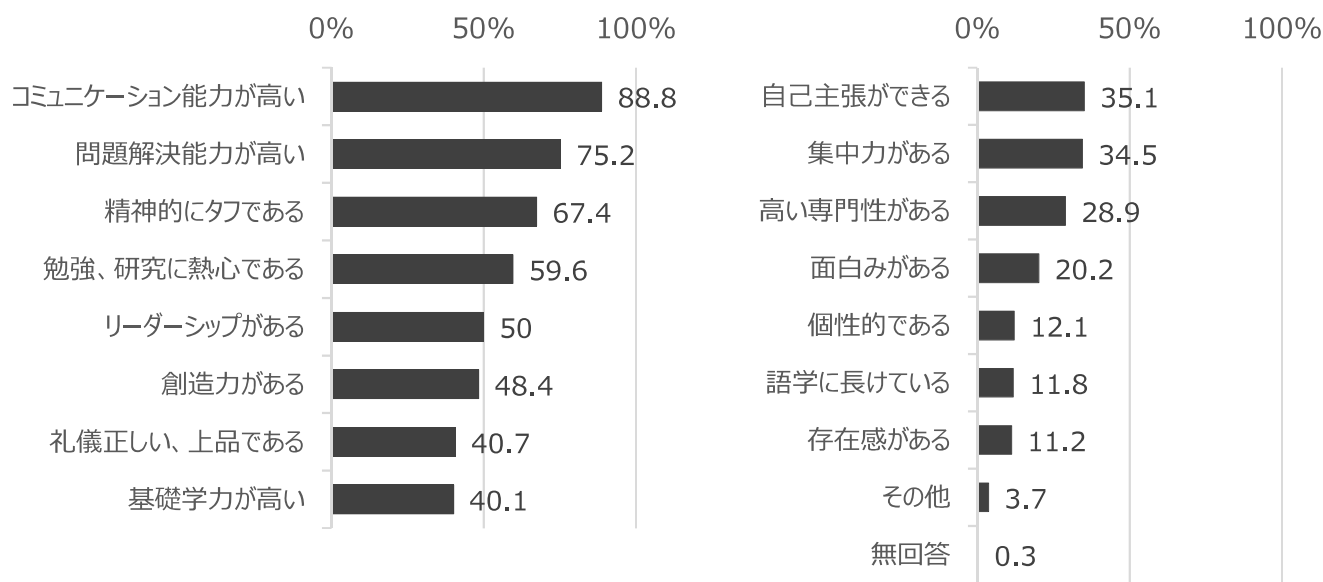
【来年度(2023年度)の大学・大学院卒業生の採用計画(SA)】 (n=322)



【求める学生の学問系統(MA)】 (n=322)



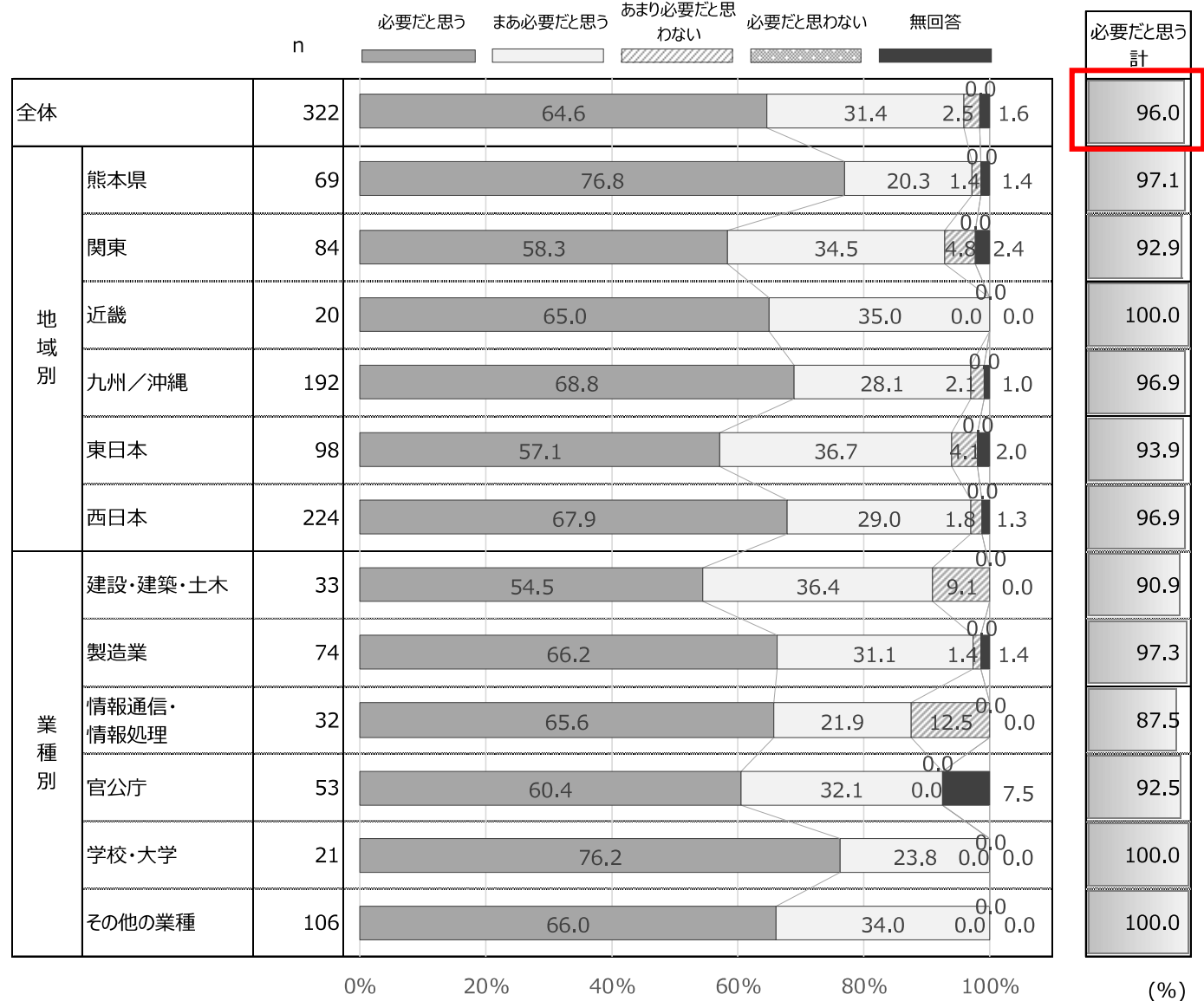
【求める学生の資質(MA)】 (n=322) ※降順にソート



新教育組織設置の必要性【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】 ①

問7. 熊本大学では、学部相当の新教育組織として「情報融合学環」と工学部内に「半導体デバイス工学課程」の設置を計画していますが、どの程度必要だと思いますか。(それぞれひとつだけ)

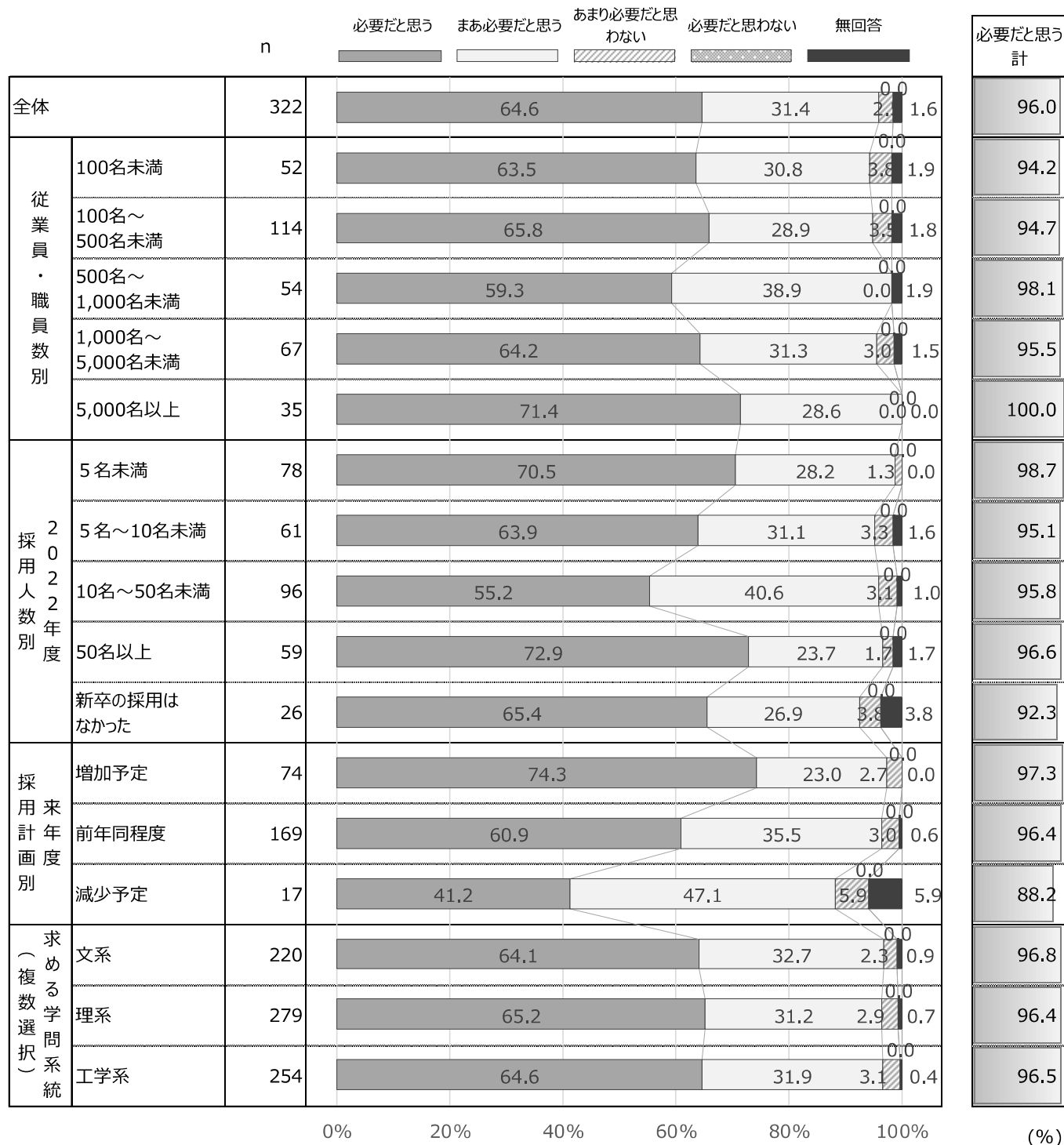
【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】





## 新教育組織設置の必要性【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】 ②

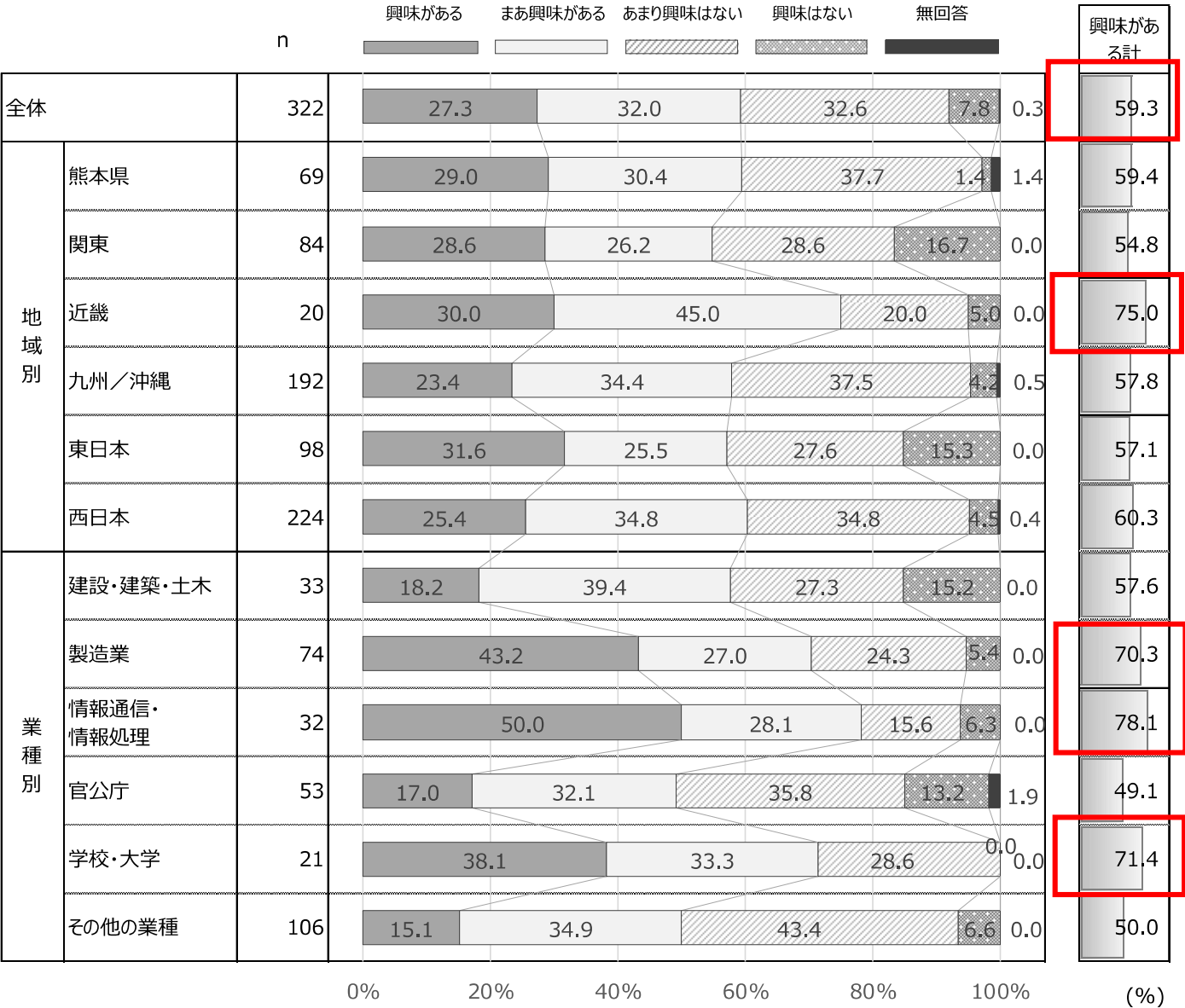
### 【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】



新教育組織への興味度【工学部：半導体デバイス工学課程(仮称)】 ①

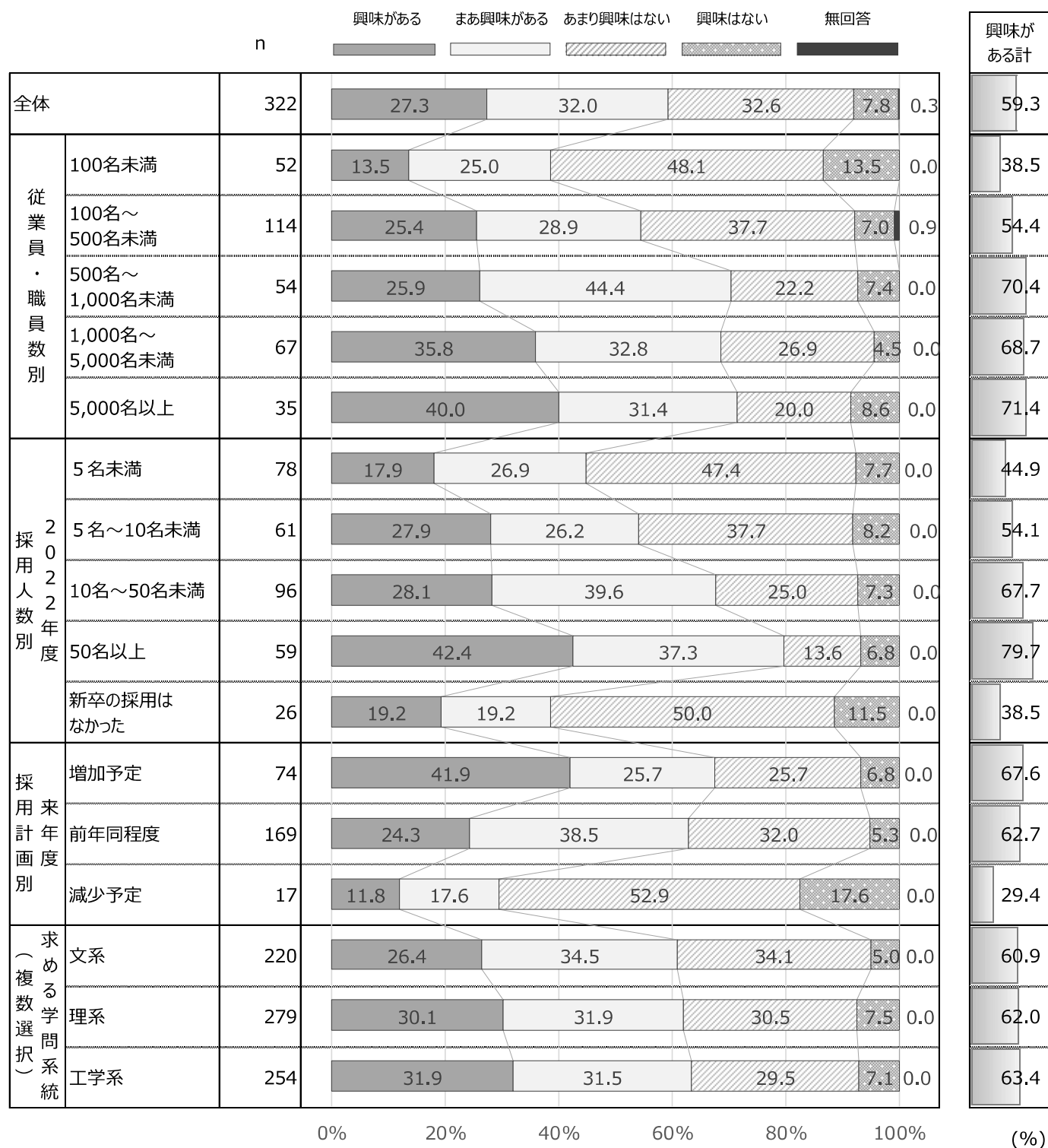
問8. 資料をご覧ください、貴社・貴団体として、新学部相当組織「情報融合学環(仮称)」と工学部「半導体デバイス工学課程(仮称)」にどの程度興味がありますか。(それぞれひとつだけ)

【工学部：半導体デバイス工学課程(仮称)】



## 新教育組織への興味度【工学部：半導体デバイス工学課程(仮称)】 ②

### 【工学部：半導体デバイス工学課程(仮称)】



# 新教育組織の特徴への魅力度【半導体デバイス工学課程(仮称)】

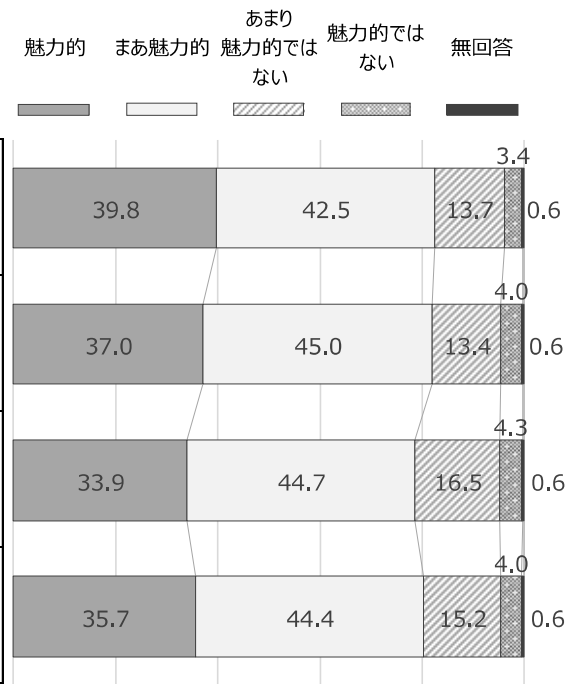
問10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程(仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

## 【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】

(n=322)

### ■ 工学部「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について

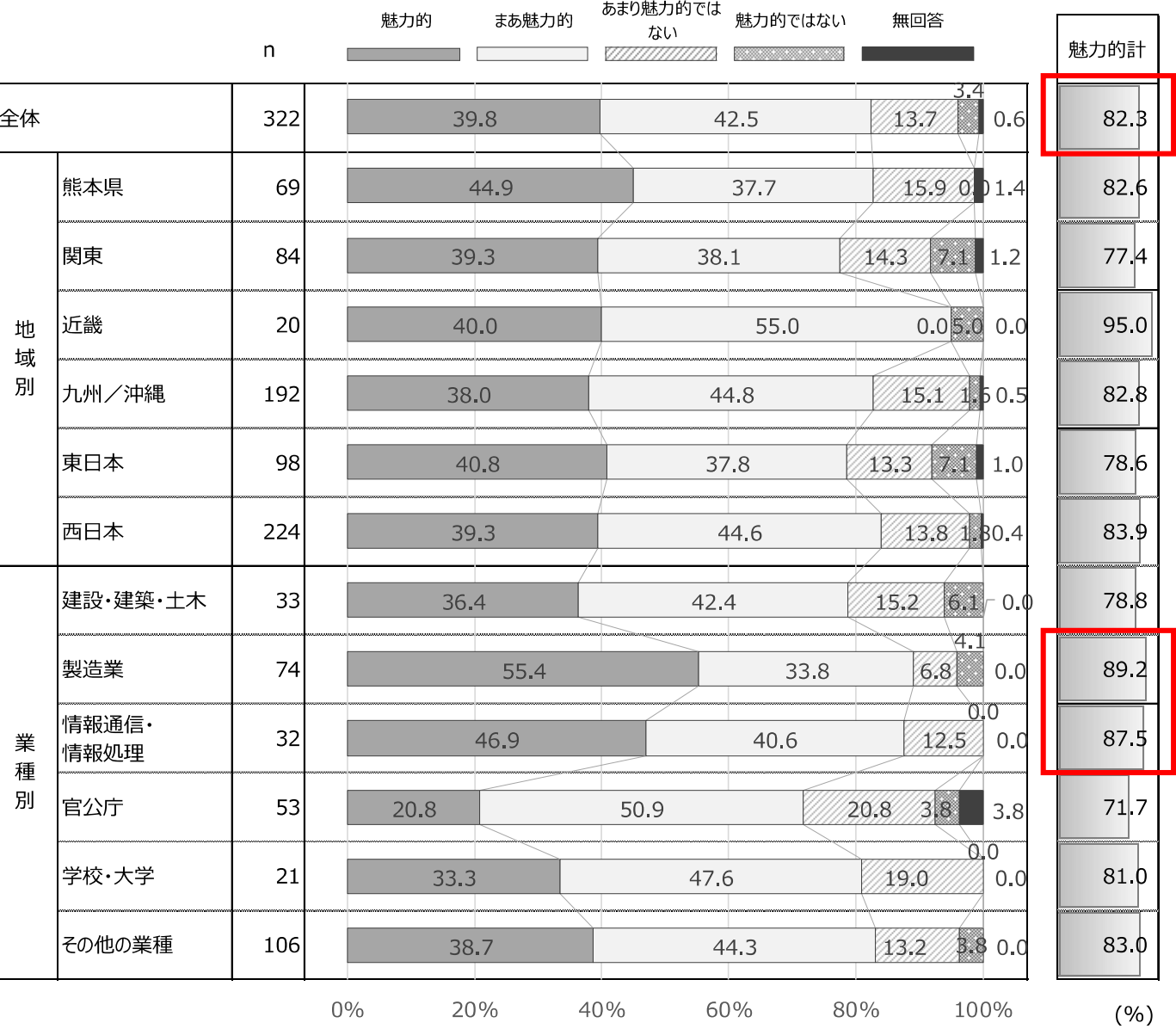
<b>国内で最も充実した半導体教育カリキュラム</b> 半導体工学の基礎となる数学/物理/化学/材料/機械などの基礎学問を学修した上で半導体デバイスプロセスや半導体システム設計、デバイス評価技術等の高度な専門的能力を身につけることができるカリキュラムを備えています。
<b>日本初の半導体教育に特化した学士課程</b>
<b>半導体関連企業でのインターンシップ</b> 熊本地域の導体関連企業・半導体製造関連（関連製造）企業でのインターンシップ等を実施し、実践力を培います。
<b>半導体関連PBL 教育・生産設備を用いた実習</b> 産業界のニーズに対応した実践的教育として、企業技術者（実務家教員）によるPBL教育や企業での実際の生産設備を用いた実習を取り入れた教育プログラムです。



新教育組織の特徴への魅力度「国内で最も充実した半導体教育カリキュラム」 ①

問10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程(仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

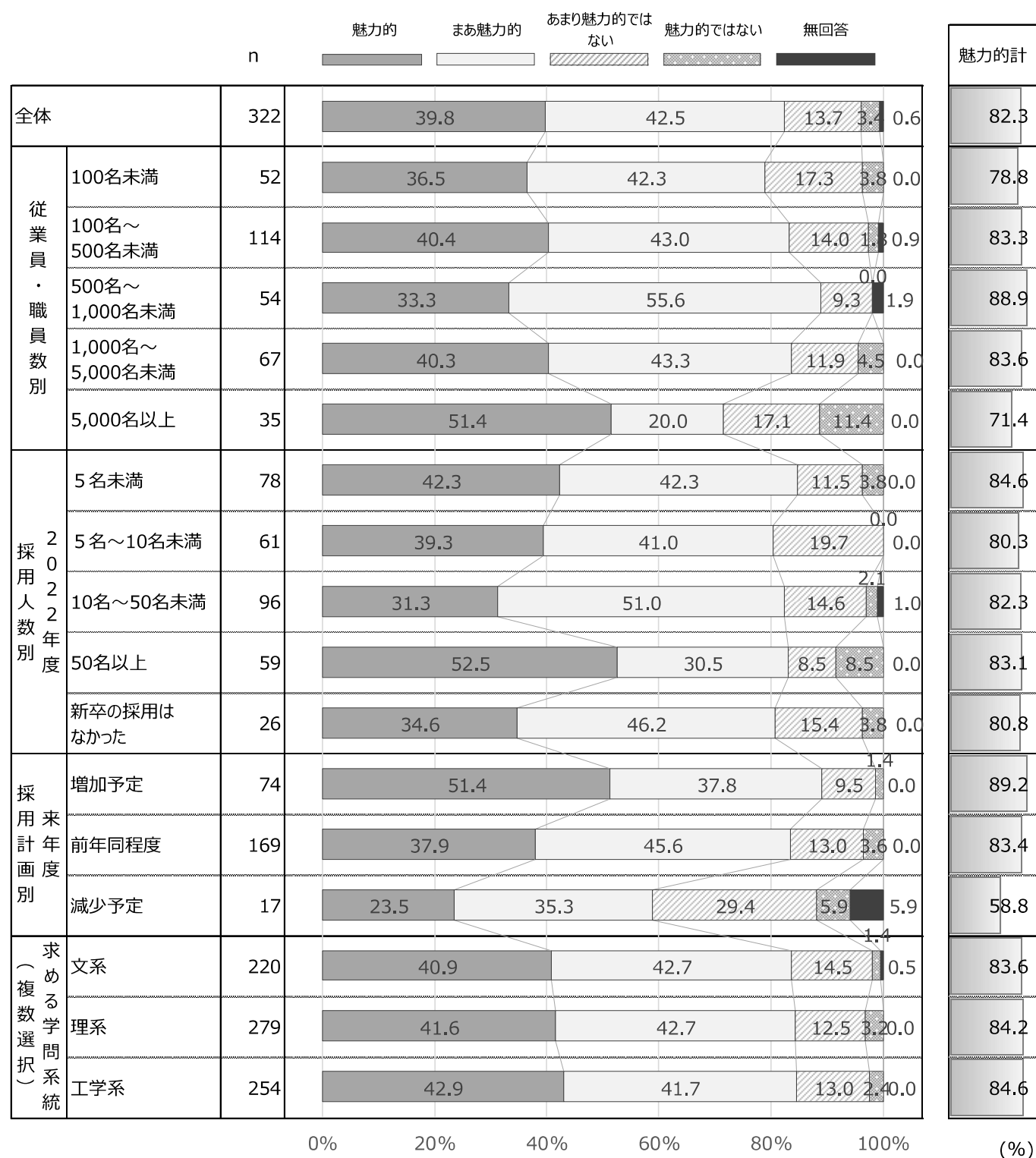
【半導体デバイス工学課程(仮称)】  
「国内で最も充実した半導体教育カリキュラム」



## 新教育組織の特徴への魅力度「国内で最も充実した半導体教育カリキュラム」 ②

### 【半導体デバイス工学課程(仮称)】

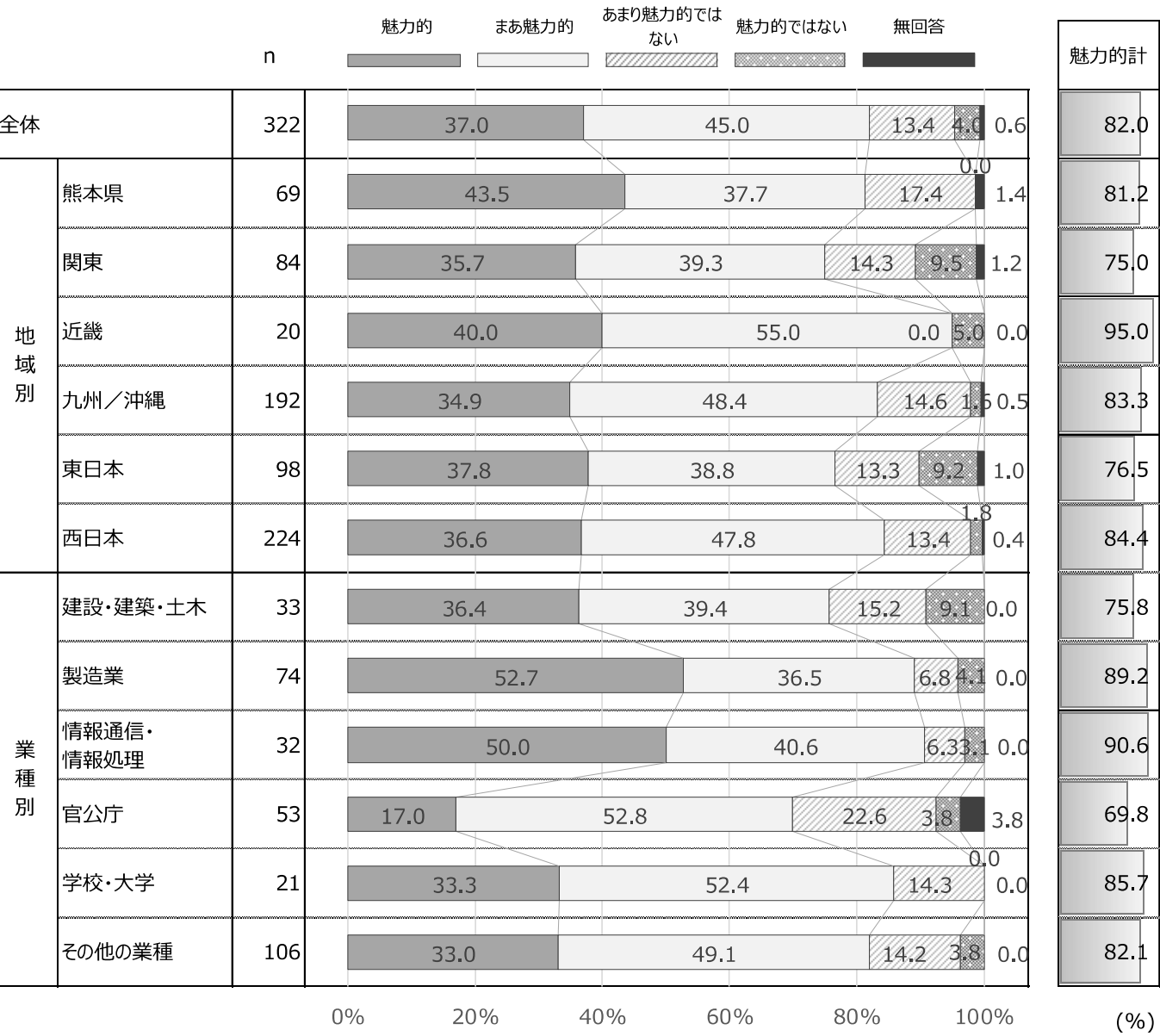
#### 「国内で最も充実した半導体教育カリキュラム」



新教育組織の特徴への魅力度「日本初の半導体教育に特化した学士課程」 ①

問10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程(仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

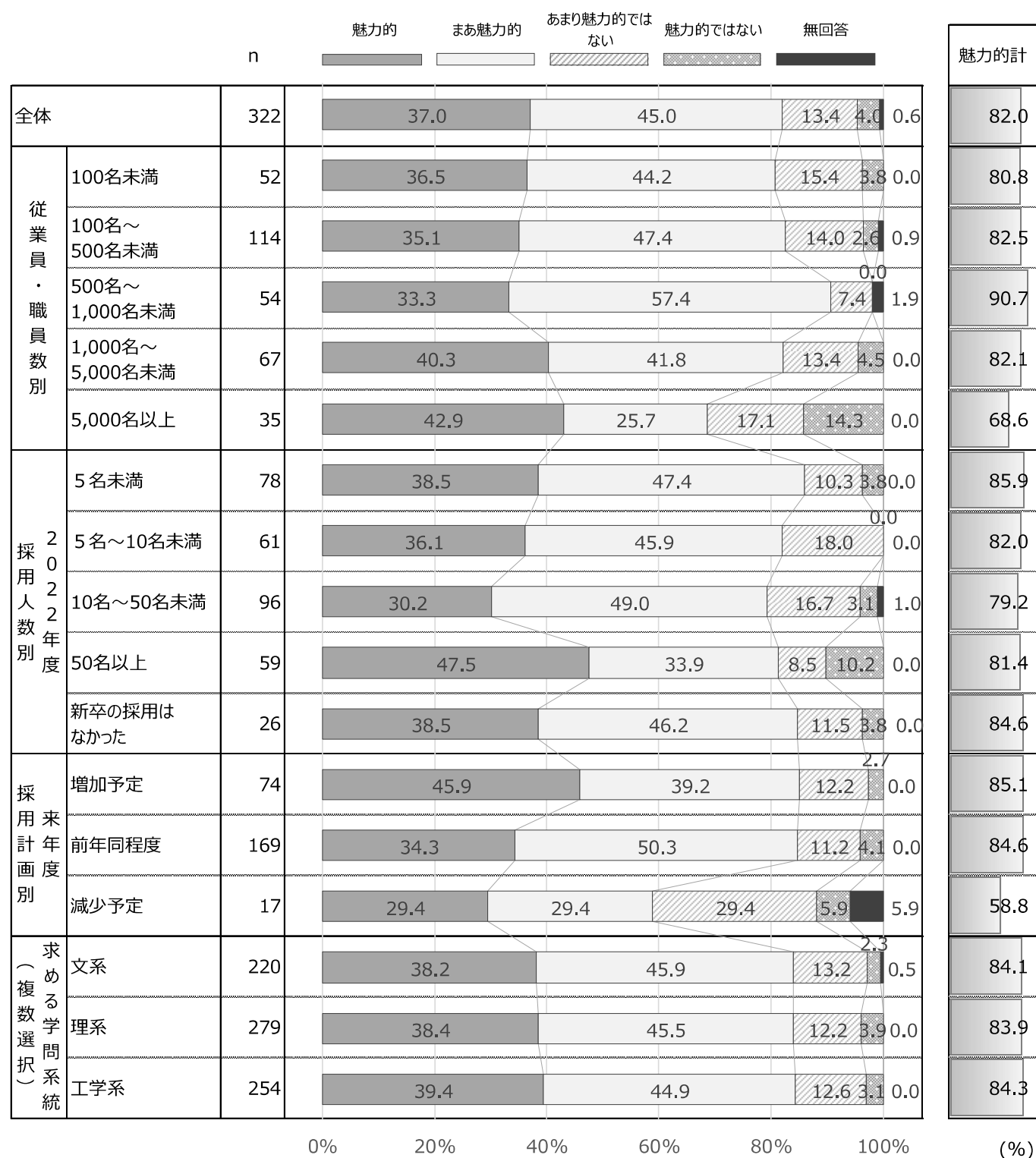
【半導体デバイス工学課程(仮称)】  
「日本初の半導体教育に特化した学士課程」



## 新教育組織の特徴への魅力度「日本初の半導体教育に特化した学士課程」 ②

### 【半導体デバイス工学課程(仮称)】

#### 「日本初の半導体教育に特化した学士課程」



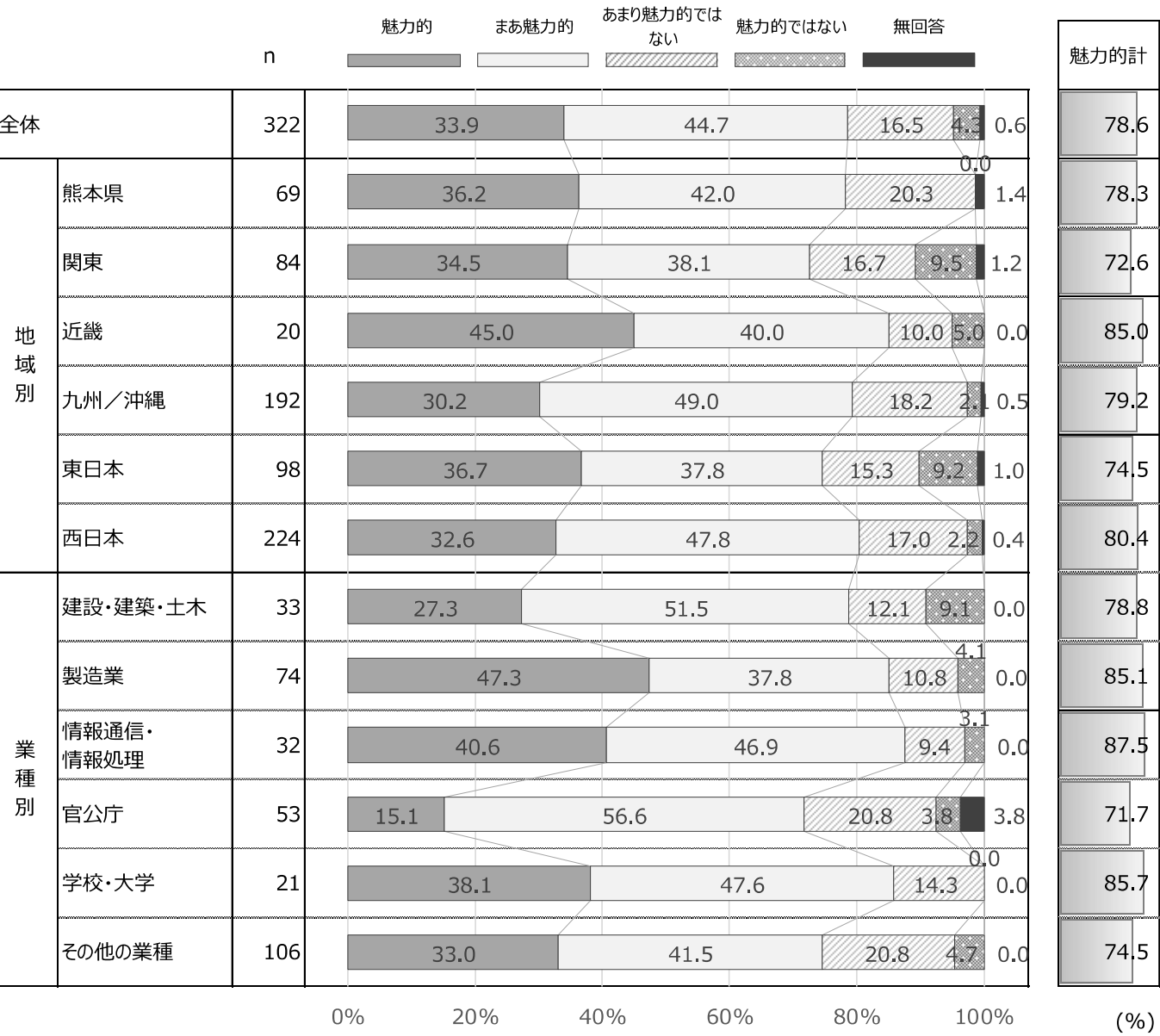


新教育組織の特徴への魅力度「半導体関連企業でのインターンシップ」 ①

問10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程(仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

【半導体デバイス工学課程(仮称)】

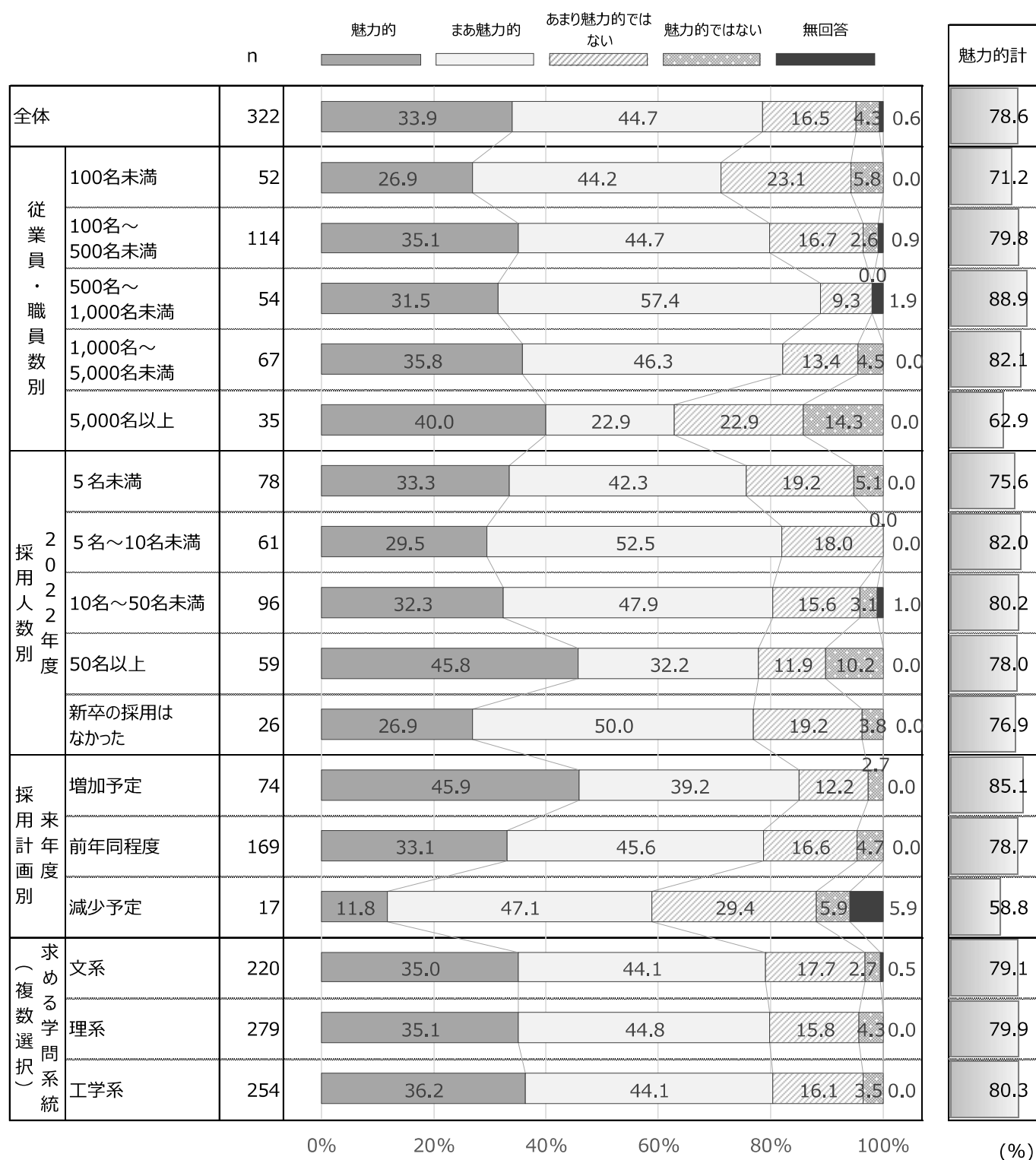
「半導体関連企業でのインターンシップ」



## 新教育組織の特徴への魅力度「半導体関連企業でのインターンシップ」 ②

### 【半導体デバイス工学課程(仮称)】

### 「半導体関連企業でのインターンシップ」

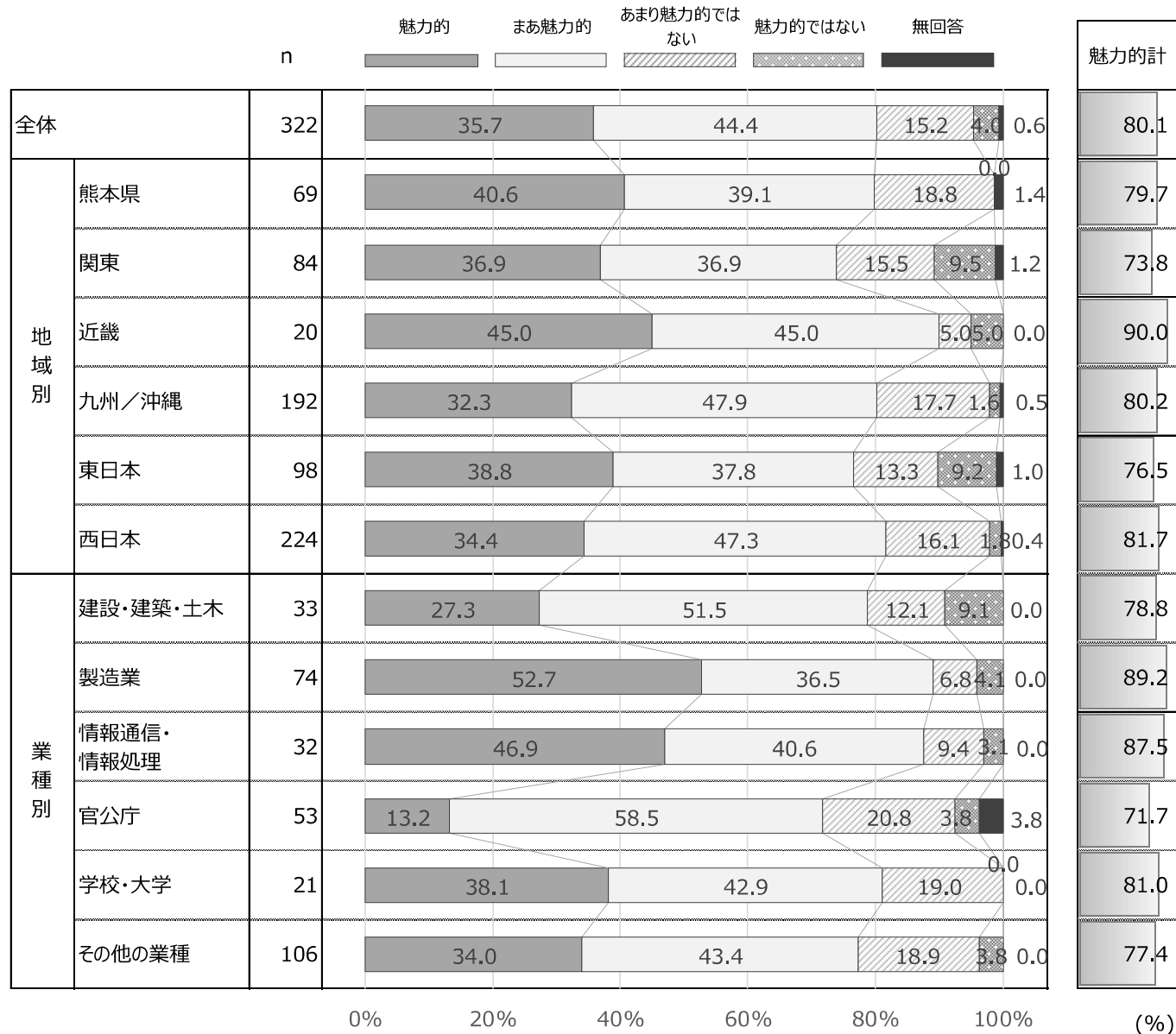


## 新教育組織の特徴への魅力度「半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習」①

問10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程(仮称)」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程(仮称)」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。(それぞれひとつだけ)

### 【半導体デバイス工学課程(仮称)】

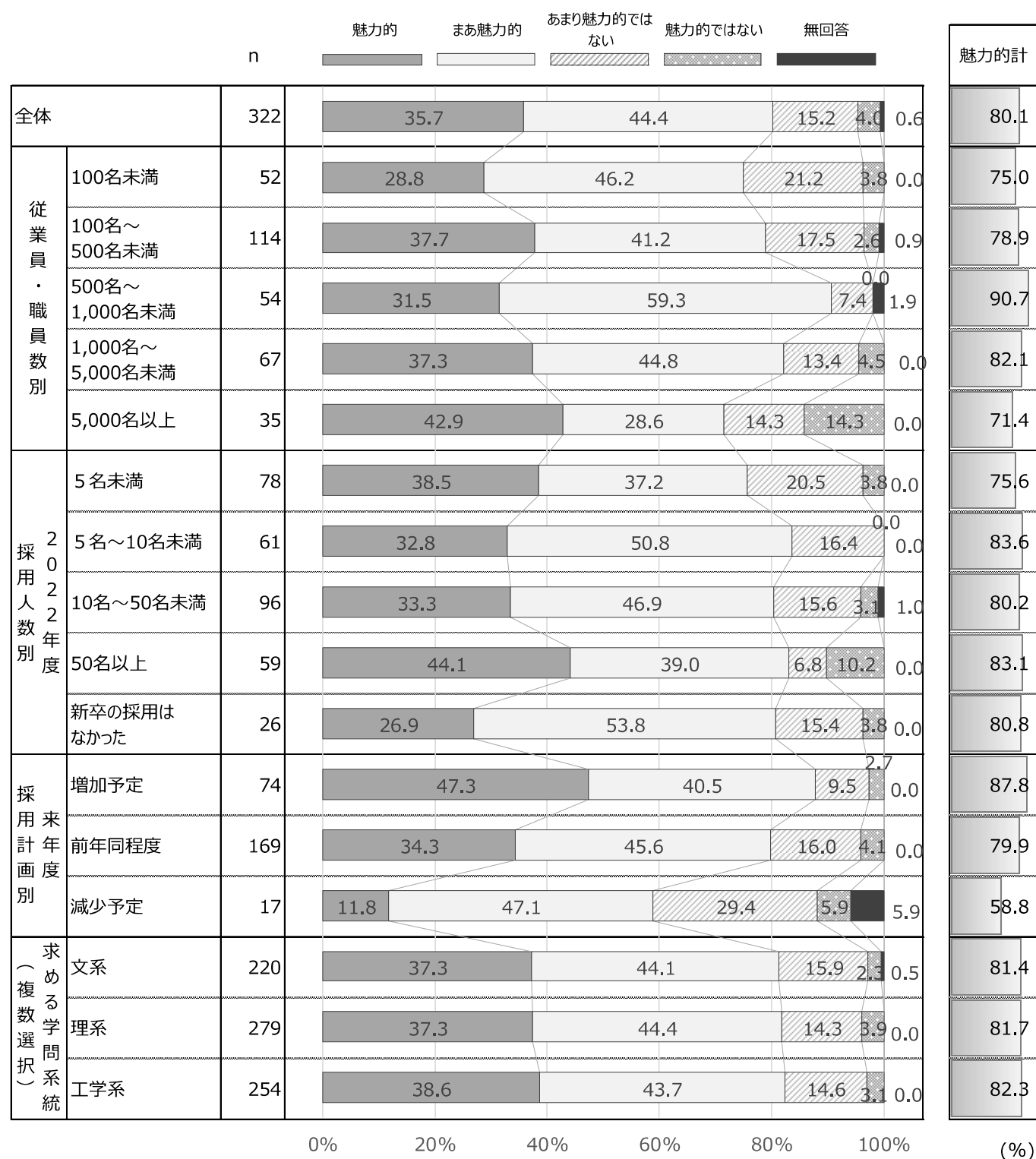
#### 「半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習」



## 新教育組織の特徴への魅力度「半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習」②

### 【半導体デバイス工学課程(仮称)】

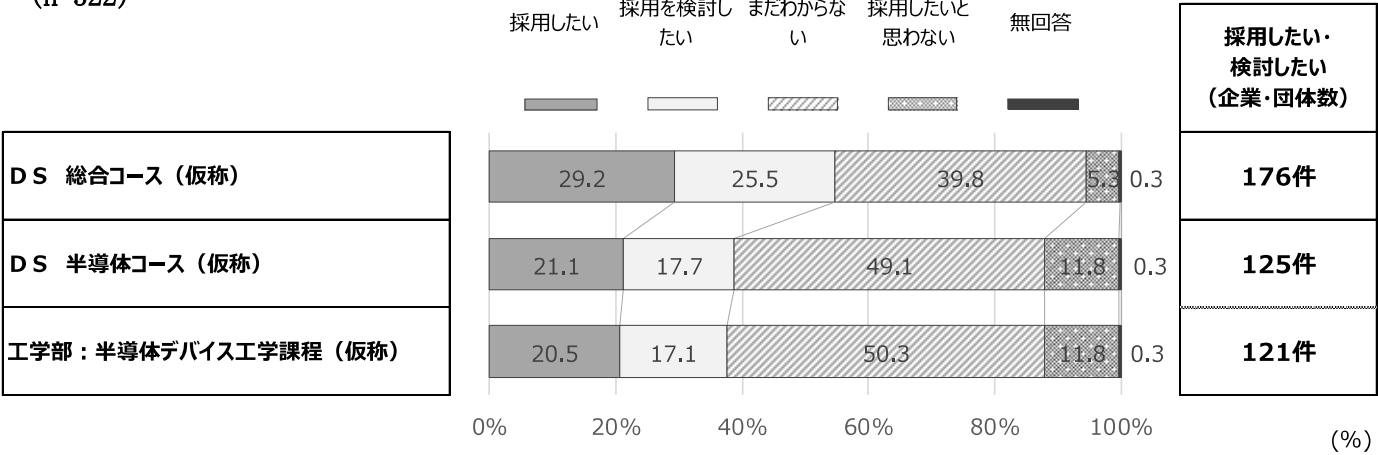
#### 「半導体関連PBL教育・生産設備を用いた実習」



採用意向／採用希望人数

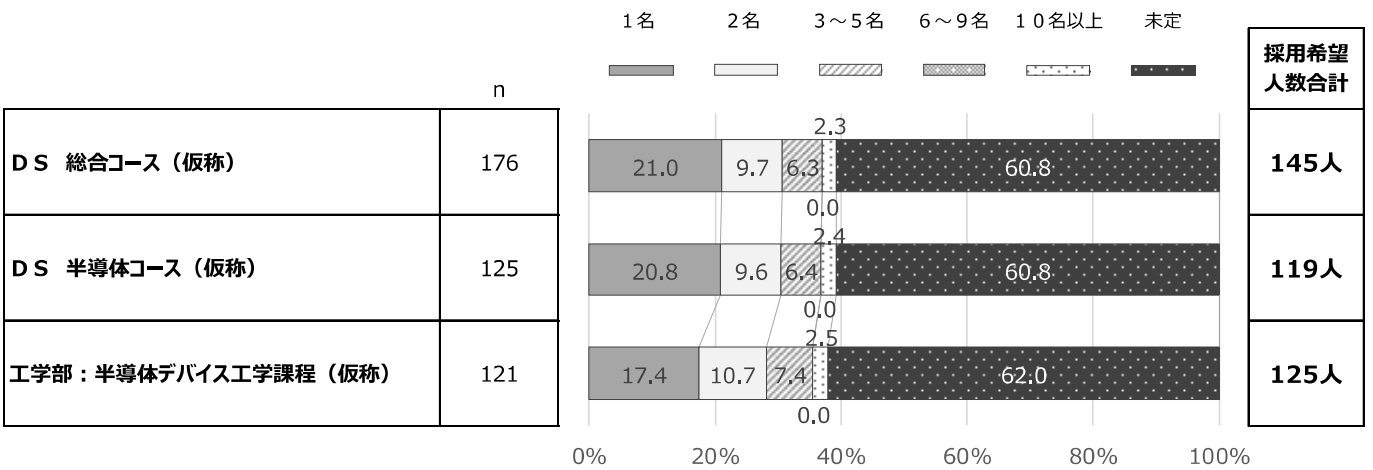
問11. 熊本大学に「情報融合学環」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程」が設置された場合、貴社・貴団体では当新学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(それぞれひとつだけ)

(n=322)



問12. 熊本大学に「情報融合学環」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程」が設置された場合、貴社・貴団体では、当学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(数値を記入)

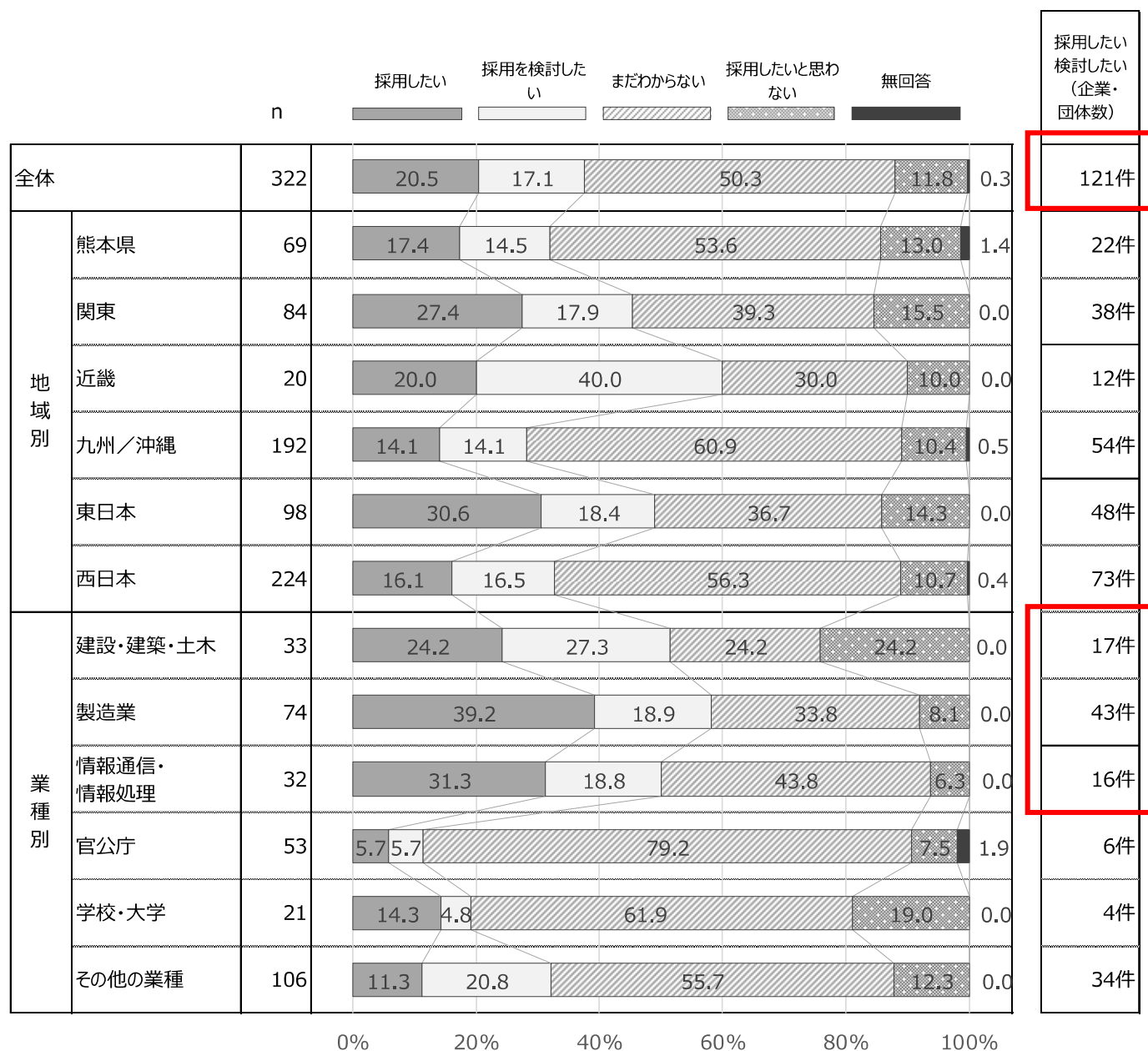
※各採用希望または検討企業・団体ベース



## 採用意向【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】①

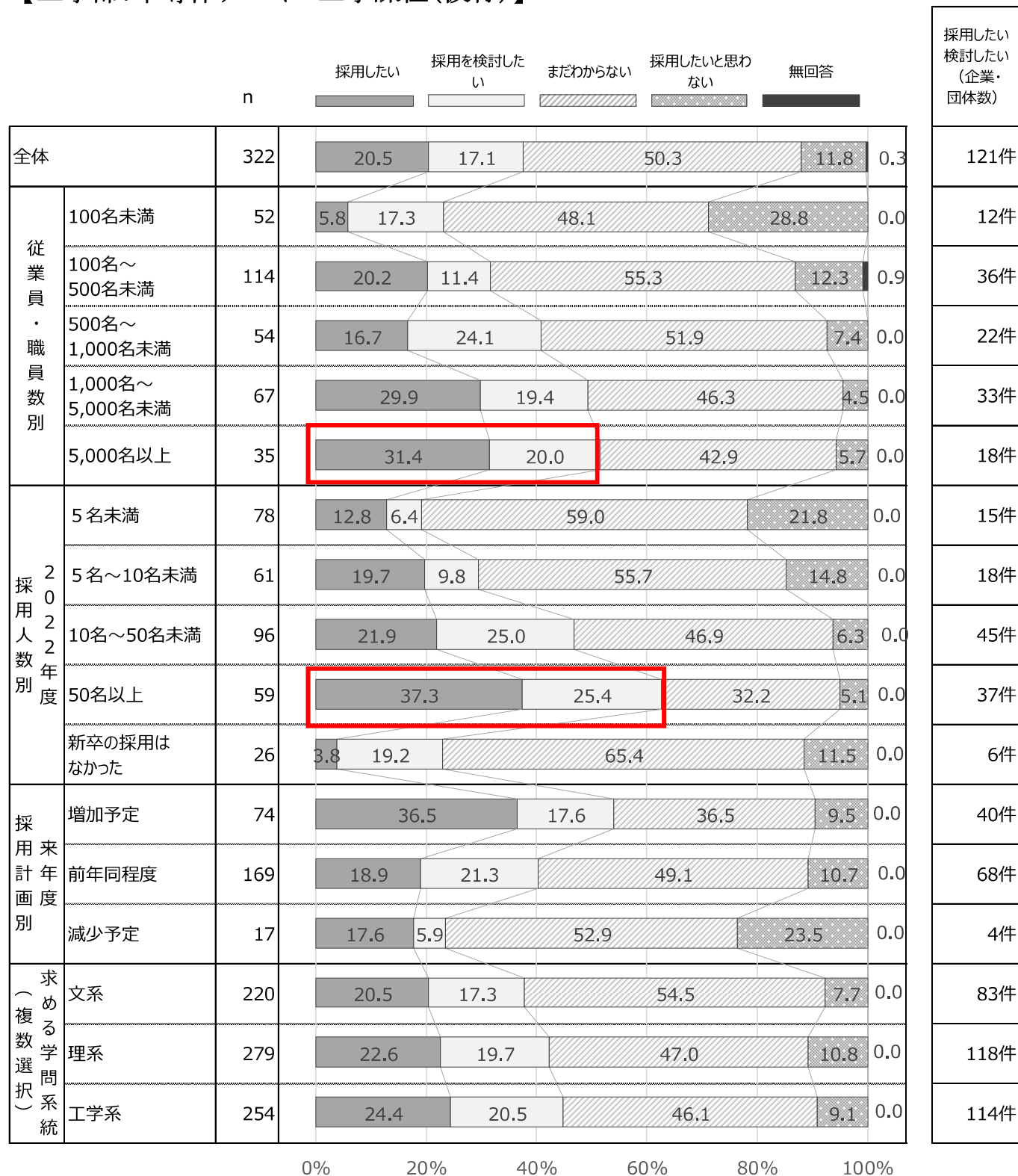
問11. 熊本大学に「情報融合学環」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程」が設置された場合、貴社・貴団体では当新学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(それぞれひとつだけ)

### 【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】



## 採用意向【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】②

### 【工学部:半導体デバイス工学課程(仮称)】



## 採用希望人数

問12. 熊本大学に「情報融合学環」と、工学部内に「半導体デバイス工学課程」が設置された場合、貴社・貴団体では、当学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。(数値を記入)

※各採用希望または検討企業・団体ベース

		採用希望人数		
		D S 総合コース（仮称） n=176	D S 半導体コース（仮称） n=125	半導体デバイス工学課程（仮称） n=121
全体		145人	119人	125人
地域別	熊本県	35人	29人	35人
	関東	54人	39人	40人
	近畿	4人	3人	3人
	九州／沖縄	77人	65人	71人
	東日本	61人	48人	48人
	西日本	84人	71人	77人
業種別	建設・建築・土木	13人	11人	11人
	製造業	38人	38人	48人
	情報通信・情報処理	38人	33人	32人
	官公庁	3人	0人	0人
	学校・大学	3人	2人	0人
	その他の業種	50人	35人	34人
従業員数別・ 職 従 業 員 別	100名未満	13人	8人	5人
	100名～500名未満	49人	33人	31人
	500名～1,000名未満	35人	34人	37人
	1,000名～5,000名未満	32人	28人	31人
	5,000名以上	16人	16人	21人
採用人数別 2022年度	5名未満	18人	9人	8人
	5名～10名未満	21人	17人	16人
	10名～50名未満	44人	31人	31人
	50名以上	57人	58人	66人
	新卒の採用はなかった	5人	4人	4人
採用計画 来年度	増加予定	63人	61人	59人
	前年同程度	75人	56人	64人
	減少予定	2人	2人	2人
（求める M A 別学）	文系	82人	56人	53人
	理系	145人	117人	123人
	工学系	138人	115人	123人



# 調査票

## 調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

< 3228326BC > 熊本大学の新教育組織設置に関するアンケート調査

### 熊本大学の新教育組織(学士課程)設置に関するアンケート調査 【調査票】

#### 【回答方法】

本アンケートは、当紙面での回答またはパソコンなどから Web 回答が可能です。  
回答については1社につき1回とさせていただきます。紙面または Web どちらかをお選びいただき、回答が重複しないようお願い致します。

#### 【Web 回答について】

Web でご回答いただく場合は、下記の URL からアクセスいただき、回答 ID をご入力ください。

<https://nkb.jp/kumadai>

回答 ID 【           】

※回答については1社・団体につき1回となりますので、紙面または Web どちらかをお選びいただき、回答が重複しないようお願い致します。

#### 【回答期限】

誠に勝手ながら、**12月16日(金)**までにご回答いただけますようお願い致します。

#### 【ご回答について】

本アンケートの回答については、質問文(問)をお読みいただき、該当する選択肢の番号に○をご記入いただくか、指定の枠内に記述をお願い致します。

アンケートで得た回答については、統計的に処理を行い、個別の企業・団体名や個人を特定することはありませんのでご安心ください。

#### ■貴社・貴団体についてお聞きいたします。

問1. 主な業種をお選びください。(○はひとつ)

- |                 |                    |                     |
|-----------------|--------------------|---------------------|
| 1. 農業・林業・漁業・鉱業  | 10. 製造業(電子部品・デバイス) | 19. 飲食              |
| 2. 建設・建築・土木     | 11. 製造業(精密機器)      | 20. 宿泊              |
| 3. 製造業(食品・飲料)   | 12. 製造業(輸送機器)      | 21. 教育・研究           |
| 4. 製造業(繊維・衣料品)  | 13. その他の製造業        | 22. 医療・福祉           |
| 5. 製造業(木材・家具)   | 14. 電気・ガス・水道       | 23. 情報処理サービス        |
| 6. 製造業(紙・印刷)    | 15. 情報通信           | 24. エンターテインメント・広告   |
| 7. 製造業(化学・石油製品) | 16. 運輸・輸送・物流       | 25. 専門サービス(弁護士、会計士) |
| 8. 製造業(機械・電気機械) | 17. 卸売・小売          | 26. その他の業種          |
| 9. 製造業(情報通信機器)  | 18. 金融・保険・不動産      |                     |

調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問2. 従業員・職員数をお知らせください。(ひとつだけ)

1. 50名未満
2. 50名～100名未満
3. 100名～500名未満
4. 500名～1,000名未満
5. 1,000名～5,000名未満
6. 5,000名以上

問3. 今年度(2022年度)の大学・大学院卒業生の新卒採用人数をお知らせください。(ひとつだけ)

1. 5名未満
2. 5名～10名未満
3. 10名～50名未満
4. 50名～100名未満
5. 100名～300名未満
6. 300名～500名未満
7. 500名以上
8. 新卒の採用はなかった

■貴社・貴団体の新卒の採用計画についてお聞かがいします。

問4. 来年度(2023年度)の大学・大学院卒業生の採用計画をお知らせください。(ひとつだけ)

1. 増加の予定
2. 前年度と同程度の予定
3. 減少の予定
4. まだわからない

問5. 貴社・貴団体が求める学生の学問系統をお知らせください。(いくつでも)

1. 文学・語学
2. 法・政治学
3. 経済・経営・商学
4. 社会・社会科学
5. 国際関係学
6. 教育学
7. 看護・保健学
8. 医・歯・薬学
9. 数学・物理学
10. 化学・生物学
11. 情報科学
12. 機械・電機・電子通信工学
13. 情報工学
14. 建築・土木・環境工学
15. 素材・材料工学
16. 工芸・工業デザイン
17. 農・水産学
18. その他

問6. 貴社・貴団体が求める学生の資質をお知らせください。(いくつでも)

1. 個性的である
2. 勉強、研究に熱心である
3. 自己主張ができる
4. リーダーシップがある
5. 集中力がある
6. 精神的にタフである
7. 礼儀正しい、上品である
8. 基礎学力が高い
9. 語学に長けている
10. 存在感がある
11. 創造力がある
12. 問題解決能力が高い
13. 高い専門性がある
14. 面白みがある
15. コミュニケーション能力が高い
16. その他

■熊本大学の新学部相当組織「情報融合学環(仮称)」と工学部新課程「半導体デバイス工学課程(仮称)」についてお聞かがいします。 ※同封の資料をご覧ください、質問にご回答ください。

問7. 熊本大学では、学部相当の新教育組織として「情報融合学環(仮称)」と工学部内に「半導体デバイス工学課程(仮称)」の設置を計画しています。これからの社会に、このような新教育組織(学士課程)の設置はどの程度必要だと思いますか。(ひとつだけ)

	必要だと思う	まあ必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない
情報融合学環(仮称)	1	2	3	4
工学部: 半導体デバイス工学課程(仮称)	1	2	3	4

調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問 8. 資料をご覧いただき、貴社・貴団体として、新学部相当組織「情報融合学環（仮称）」と工学部「半導体デバイス工学課程（仮称）」にどの程度興味がありますか。（ひとつだけ）

	興味がある	まあ興味がある	あまり興味はない	興味はない
情報融合学環（仮称）	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）	1	2	3	4

問 9. 熊本大学の「情報融合学環（仮称）」では、「DS（データサイエンス）総合コース（仮称）」「DS（データサイエンス）半導体コース（仮称）」の2つのコースを設置する計画です。「情報融合学環（仮称）」とそれぞれのコースの特徴について、どの程度魅力を感じますか。（それぞれひとつだけ）

■「情報融合学環（仮称）」の特徴について	魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
A データサイエンス・DXスキル教育： Society5.0に対応するために必要不可欠なデータサイエンスを含めた情報通信・AIに関連する基礎的な知識とアートを活用するためのスキル修得のためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
B 実践的英語教育： 実践的な英語によるコミュニケーション能力を培うためのカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
C 中学校・高等学校の教員免許状： 選択により中学校教諭・高等学校教諭「数学」、高等学校教諭「情報」の免許を取得できるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
D 文理融合教育・他大学と連携した授業科目： 法学部等の文系学部の科目に加え、熊本大学にはない経営学や農学等に関わる科目を熊本県立大学、東海大学の関連科目から選択できます。データサイエンスを軸とした様々な専門分野を学ぶことができます。	1	2	3	4

■「DS総合コース（仮称）」の特徴について \*PEL＝Project Based Learning：地域課題解決等を通じた探究的な学びの手法

E 地域課題 PEL*： 企業や自治体等の実務家教員が担当する科目を開講し、実際のアートを使って、データサイエンススキル等を活用し、社会現場から問題を見つけ出す課題発見力や、分析の結果を現場に浸透させて改善する社会実装力を学びます。	1	2	3	4
---	---	---	---	---

■「DS半導体コース（仮称）」の特徴について

F データサイエンスの視点から半導体製造分野で活躍するために必要な専門科目： 回路開発環境の標準的ソフトウェア環境や、実際の半導体製造プロセスを備えた実験実習科目等を含めた実践力を醸成する教育プログラムです。	1	2	3	4
---	---	---	---	---

問 10. 熊本大学工学部では、「半導体デバイス工学課程（仮称）」を新たに設置する計画です。「半導体デバイス工学課程（仮称）」の特徴について、どの程度魅力を感じますか。（それぞれひとつだけ）

■工学部「半導体デバイス工学課程（仮称）」の特徴について	魅力的	まあ魅力的	あまり魅力的ではない	魅力的ではない
G 国内で最も充実した半導体教育カリキュラム： 半導体工学の基礎となる数学/物理/化学/材料/機械などの基礎学問を学修した上で半導体デバイスプロセスや半導体システム設計、デバイス評価技術等の高度な専門的能力を身につけることができるカリキュラムを備えています。	1	2	3	4
H 日本初の半導体教育に特化した学士課程	1	2	3	4
I 半導体関連企業でのインターンシップ： 熊本地域の半導体関連企業、半導体製造関連（関連製造）企業でのインターンシップ等を実施し、実践力を培います。	1	2	3	4
J 半導体関連 PEL 教育・生産設備を備えた実習： 産業界のニーズに対応した実践的教育として、企業技術者（実務家教員）による PEL 教育や企業での実際の生産設備を用いた実習を取り入れた教育プログラムです。	1	2	3	4

調査票(印刷用データ ※トンボ付き)

問 11. 熊本大学に「情報融合学環（仮称）」（「DS 総合コース（仮称）」「DS 半導体コース（仮称）」）と、工学部内に「半導体デバイス工学課程（仮称）」が設置された場合、貴社・貴団体では、当新学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。（それぞれひとつだけ）

	採用したい	採用を検討したい	まだわからない	採用したいと思わない
DS 総合コース（仮称）	1	2	3	4
DS 半導体コース（仮称）	1	2	3	4
工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）	1	2	3	4

【前問で、「採用したい」「採用を検討したい」と回答された方におうかがいします。】

問 12. 熊本大学に「情報融合学環（仮称）」（「DS 総合コース（仮称）」「DS 半導体コース（仮称）」）と、工学部内に「半導体デバイス工学課程（仮称）」が設置された場合、貴社・貴団体では、当学環・当課程卒業生をどの程度採用したいと考えますか。（数値を記入）

※採用人数が想定できない場合は、「未定」とご記入ください。

DS 総合コース（仮称）	名程度
DS 半導体コース（仮称）	名程度
工学部：半導体デバイス工学課程（仮称）	名程度

最後に、貴社・貴団体の情報と、本調査にご回答いただいた方の情報をお知らせください。

企業・団体名	
ご住所	
本社・本部所在地 (都道府県)	[                      ] 都・道・府・県    海外

以下は、当アンケートにご回答いただいた方についてお知らせください。

ご担当者名 (ご回答者名)	
部署名	
新卒採用への関わり (〇はいくつでも)	1. 採用に関する決裁権がある 2. 採用活動に関与している 3. 直接関与はないが、採用に関する意見・要望を出せる

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。



## 同封資料①

令和6年  
4月

**情報融合学環  
創設**

入学定員：60名

紡ぐ、  
挑む、  
半導体産業の未来を  
デジタルの最先端へ

**DS 総合コース**  
(仮称)  
Data Science General course  
コース配属人数(2年次から):40名\*

**DS 半導体コース**  
(仮称)  
Data Science Semiconductor course  
コース配属人数(2年次から):20名\*

データサイエンスを  
基礎とした  
文理融合型の学び

実践的かつ専門的な  
半導体関連コースと  
幅広く学べる総合コース

地域社会および国内外の  
研究機関や企業との  
立体的な連携

Feature  
強み・特徴

https://www.kumamoto-u.ac.jp/

School of Informatics

情報融合学環で身に付く力

**DS 総合コース (仮称)**  
Data Science General course

人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデータサイエンスを総合的に学ぶことで、社会の幅広いDX課題に対応できる力が身に付く

実践的な英語科目、プレゼンテーション、アポイントレタリング、文書融合科目を学ぶことで、国際社会で活躍できる力が身に付く

取得可能資格  
中小学校教育一般免許(数学)、高等学校教諭一種免許状(数学/情報)、ほか(申請予定)

修得の道  
金融機関、情報通信系(IT企業)、製造業、流通・サービス、教育関連業、地方・国家公務員、学校教員

**DS 半導体コース (仮称)**  
Data Science Semiconductor course

基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を学ぶことで、半導体を含む製造DX課題に対応できる力が身に付く

取得可能資格  
中小学校教育一般免許(数学)、高等学校教諭一種免許状(数学/情報)、ほか(申請予定)

修得の道  
半導体関連企業をはじめとする製造業、情報通信系(IT企業)、流通・サービス、地方・国家公務員、学校教員

カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
DS 半導体コース (仮称)			半導体関連科目	
DS 総合コース (仮称)			半導体関連科目 (選択・コアサイエンス・人間性科目)	
			情報科学関連科目	
			社会科学関連科目	

※各コースの履修科目は選択科目として履修可能

入試日程

	入学希望発表会場公開	入学希望発表会場公開	入学希望発表会場公開	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜後期日程	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年3月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを要する)				令和6年2月(予定)	令和6年2月(予定)

※大学入学共通テストを要する

**熊本大学**  
Kumamoto University

【お問い合わせ】  
熊本大学 新教育組織(学士課程) 設置準備室  
TEL: 096-342-2031

https://www.kumamoto-u.ac.jp/

## 同封資料②

令和6年  
4月

**工学部  
半導体デバイス工学課程  
創設**

入学定員：20名

くまもとから世界へ  
半導体の  
未来を切り拓く

半導体工学の最先端を学べる上  
で、半導体デバイスプロセスや半導  
体システム設計、デバイス評価技術な  
どの高度な専門性を高める

授業は、最先端の半導体研究を行っている  
教授に加え、企業の第一線で活躍中の研究者  
/技術者や経営者が講師。インターンシップな  
ど、企業との連携による実践的な科目が豊富

社会的要請の強い半導体関連分野に  
おいて、世界で活躍するための英語  
運用能力とコミュニケーション能力  
を高めるプログラムを用意

Feature  
強み・特徴

半導体教育に特化したカリキュラム

**Point 1**

半導体工学の最先端を学べる上  
で、半導体デバイスプロセスや半導  
体システム設計、デバイス評価技術な  
どの高度な専門性を高める

**Point 2**

授業は、最先端の半導体研究を行っている  
教授に加え、企業の第一線で活躍中の研究者  
/技術者や経営者が講師。インターンシップな  
ど、企業との連携による実践的な科目が豊富

**Point 3**

社会的要請の強い半導体関連分野に  
おいて、世界で活躍するための英語  
運用能力とコミュニケーション能力  
を高めるプログラムを用意

https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/

Faculty of Engineering

工学部 半導体デバイス工学課程の強み

**教育の概要**

半導体デバイスの設計・製造プロセス全体に対する理解力に加えて、産業界の半導体人材育成ニーズを踏まえ、半導体研究開発に不可欠な物理・化学・数学・材料・機械などの基礎学習(「工学バリエーション」)の修得を重視したカリキュラムとする。さらに、地元半導体企業と連携して実務家教員を雇用し、OJT・PBL(現場型+課題解決型)教育を積極的に行い、入れた教育プログラムを提供する

**育成する人材**

半導体デバイス製造の従事者からエンジニアになる製造過程における基礎的な専門知識を備え、半導体デバイスの製造・評価・開発に携われる人材へ

・半導体製造現場(工場)現場設計・システム設計エンジニア  
・半導体デバイスプロダクトエンジニア など

入試

1年次入学(仮称) 特別選抜及び一般選抜の実施を検討中

入試日程

	入学希望発表会場公開	入学希望発表会場公開	入学希望発表会場公開	試験日程	合格発表
一般選抜前期日程				令和6年2月(予定)	令和6年3月上旬(予定)
一般選抜後期日程	令和5年7月(予定)	令和5年11月(予定)	令和6年1月13日(土)、14日(日)	令和6年3月(予定)	令和6年3月下旬(予定)
学校推薦型選抜Ⅱ (大学入学共通テストを要する)				令和6年2月(予定)	令和6年2月(予定)

**熊本大学**  
Kumamoto University

【お問い合わせ】  
熊本大学 自然科学系事務課 工学部教務担当  
TEL: 096-342-3522

https://www.eng.kumamoto-u.ac.jp/

## 同封資料③

令和6年  
4月

# Change & Charge

熊本大学

紡ぐ、半導体産業の未来を  
挑む、デジタルの最先端へ

くまもとから世界へ  
半導体の未来を切り拓く

文理融合の学部連携組織

工学部4学科横断の新組織

## 情報融合 学環 (仮称)

入学定員: 60名

文理融合、実践的教育、  
学内連携、地域連携、  
大学間連携によるDX、  
数値・データサイエンス人材を  
育成します

## 工学部 半導体デバイス 工学課程 (仮称)

入学定員: 20名

半導体デバイスの製造過程に  
おける基礎的専門知識を備え、  
半導体デバイスの  
製造・評価・開発に関わる  
人材を育成します

DS総合コース (仮称) コース編入者 (2名以内) 20名\*  
人工知能、ビッグデータ分析、情報科学、統計学を含むデー  
タサイエンスを体系的に学ぶことで、社会の幅広いDX課題  
に対応できる力を育成

DS半導体コース (仮称) コース編入者 (2名以内) 20名\*  
基礎となるデータサイエンスに加え、専門的な半導体の知識を  
学ぶことで、半導体を含む製造DX課題に対応できる力を育成

\*1 総合コース共通の科目を履修し、  
2 半導体コース共通の科目を履修する。

将来の道

データサイエンティスト 半導体関連エンジニア

※「情報融合学環 (仮称)」及び「工学部半導体デ  
バイス工学課程 (仮称)」の設置について、  
文部科学省の認可を経て、学生の入学希望の意向を  
受け付ける予定です。詳細は募集要項によって確定  
するものであり、変更の可能性がおります。

熊本大学  
Kumamoto University

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>